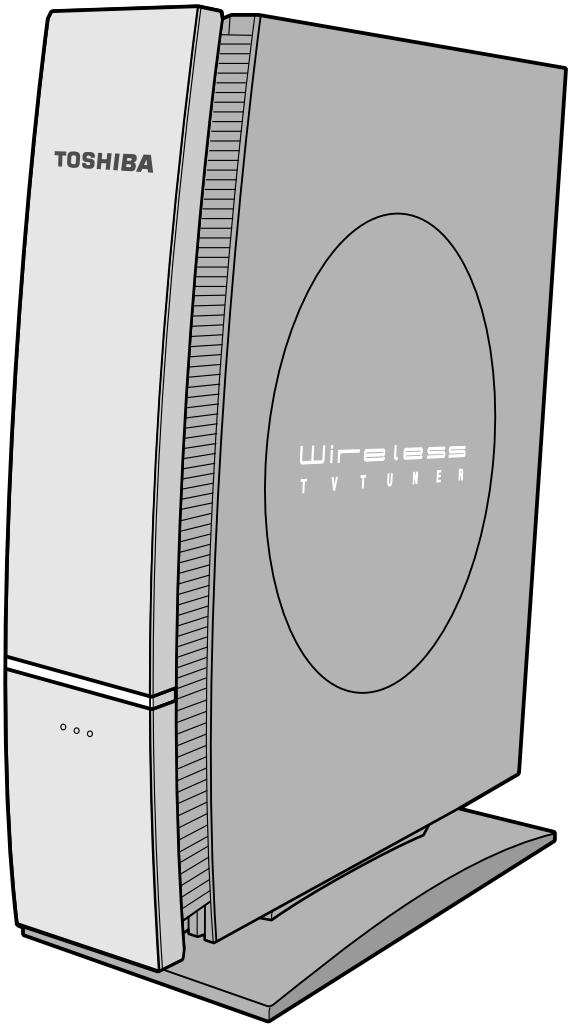
TOSHIBA

Wireless TV TUNER

ワイヤレス TV チューナ

セットアップガイド



ワイヤレスTVチューナ セットアップガイド

このたびは、東芝製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本製品を正しくご使用いただくために、ワイヤレスTVチューナの設定方法を接続形態別に説明いたします。インターネットを使用している環境でワイヤレスTVチューナを設定するときは、お客様がプロバイダやインターネットに接続する環境などによって、設定方法が異なりますので、本セットアップガイドをご覧いただき、設定を行なってください。

設定完了までの流れ

ワイヤレスTVチューナの設定を完了するまでの、大きな流れは次のようになります。
1～6までと、8～10までは共通の操作・設定です。また7は利用形態別の設定です。ここではお客様がお使いの環境により、設定が異なりますので「1. 接続形態を確認する」で確認のうえ、該当する接続形態の設定を行なってください。

共通の操作・設定

- 1. 接続形態を確認する 2
  - ワイヤレスTVチューナの接続形態の選択 3
- 2. パソコンのファイアウォール機能を無効にする 9
- 3. ワイヤレスTVチューナの初期設定を行う 11
- 4. パソコンにソフトウェアをインストールする 12
- 5. UPnP機能のインストールを確認する 13
- 6. WinDVR5の初期設定を行う 13

接続形態別

- 7. 利用形態に応じた設定を行う（ケース1、ケース2、ケース3、ケース4） 15
  - 利用形態別にパソコンの設定を行う 15

共通の操作・設定

- 8. パソコンのファイアウォール機能を適切に設定する（ファイアウォール機能をご使用になるユーザのみ） 26
- 9. パソコンのローカルエリア接続の設定を元に戻す 28
- 10. 完了

用語の説明

IPアドレス
ネットワークに接続されている機器を識別するための番号で、機器ごとに異なった番号が割り振られている必要があります。

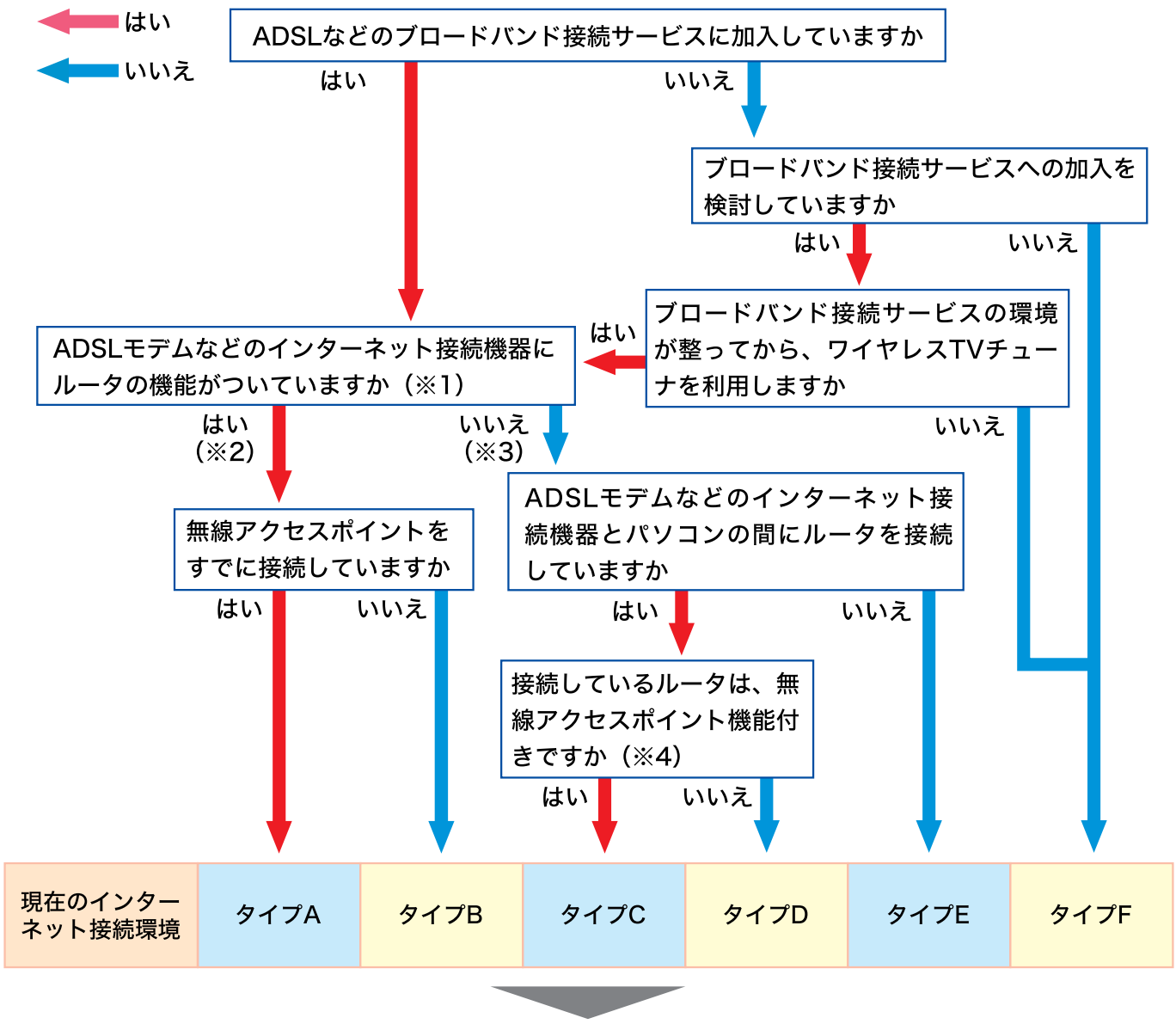
ルータ
2つ以上のネットワーク間の接続を処理する機器で、ルータを導入することで、複数のパソコンなどから、ADSLモデムなどのインターネット接続機器を経由して、インターネットが利用できるようになります。ルータがない環境では、1台のパソコンなどからしか、インターネットを利用できません。このため、ルータがない環境に、ワイヤレスTVチューナを導入しても、ワイヤレスでインターネットに接続はできません。なお、一部のプロバイダからレンタルされるADSLモデムには、ルータが内蔵されているものもあります。

無線アクセスポイント
LANと無線LANの中継を行う機器のことです。ワイヤレスTVチューナは、無線アクセスポイントの機能を持っています。

ブロードバンド接続
アナログ電話回線(モデム)やISDN回線を使った従来の通信回線のインターネット接続ではなく、ADSL、光ファイバー(FTTH)、CATVなどの接続形態でより高速の通信回線でのインターネット接続を実現するものです。
アナログ電話回線(モデム)やISDN回線が数十kbpsの通信回線速度なのに対し、通常500kbps以上の通信回線速度を備えていて、映像や音声など大容量のデータを、よりスムーズに使うことができます。

1. 接続形態を確認する

ワイヤレスTVチューナをご利用いただくために、次の質問に答えてワイヤレスTVチューナを導入する前の現在のインターネット接続環境（タイプA～タイプF）をご確認ください。



現在のインターネット接続環境のタイプです。
メモなどに残したうえ、次ページにお進みください。

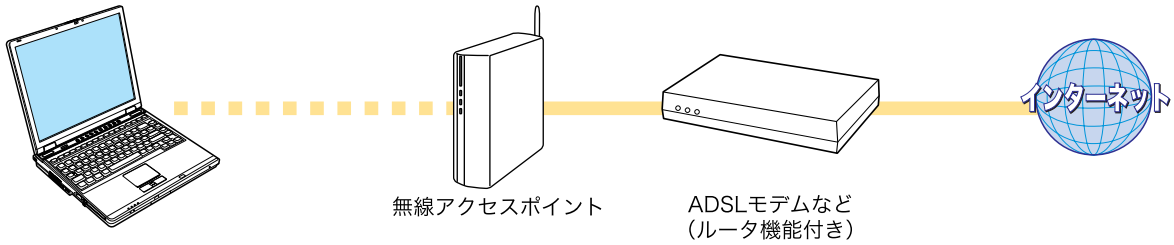
(※1)　ご使用のADSLモデムなどのインターネット接続機器がルータ付きかどうかわからない場合は、プロバイダやモデムの製造元にご確認ください。
(※2)　ルータ付のモデムを提供している代表的なプロバイダ：アッカ・ネットワークス、イー・アクセス、T-COM、フレッツ・ADSL（IP電話サービス利用の場合） など
(※3)　ルータなしのモデムを提供している代表的なプロバイダ：Yahoo! BB、CATV、フレッツ・ADSL（IP電話未使用の場合）、Bフレッツ、TEPCOひかり など
(※4)　ルータに、無線アクセスポイントを接続している場合も含みます。

ワイヤレスTVチューナの接続形態の選択

ここではワイヤレスTVチューナをお使いになる環境をお選びいただき、それぞれの設定方法について説明します。

タイプA

現在のインターネット接続環境

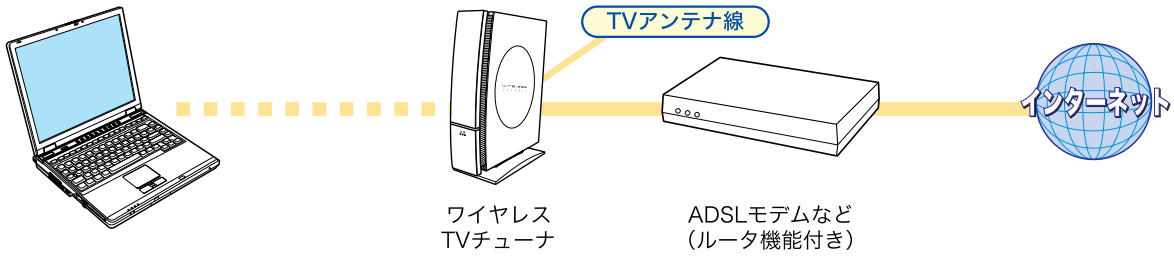


ワイヤレスTVチューナ接続後のインターネット接続環境

① ワイヤレスTVチューナをTV視聴とインターネット接続の両方に使う場合　ケース1

パソコンは、ADSLモデムとワイヤレスTVチューナから離れた場所に設置できます。ただし、ADSLモデム用の電話口などと、ワイヤレスTVチューナに接続するTVアンテナ線が近くにあり、下図のように、ADSLモデムとワイヤレスTVチューナを有線LANケーブルで接続できる場合に適用可能です。

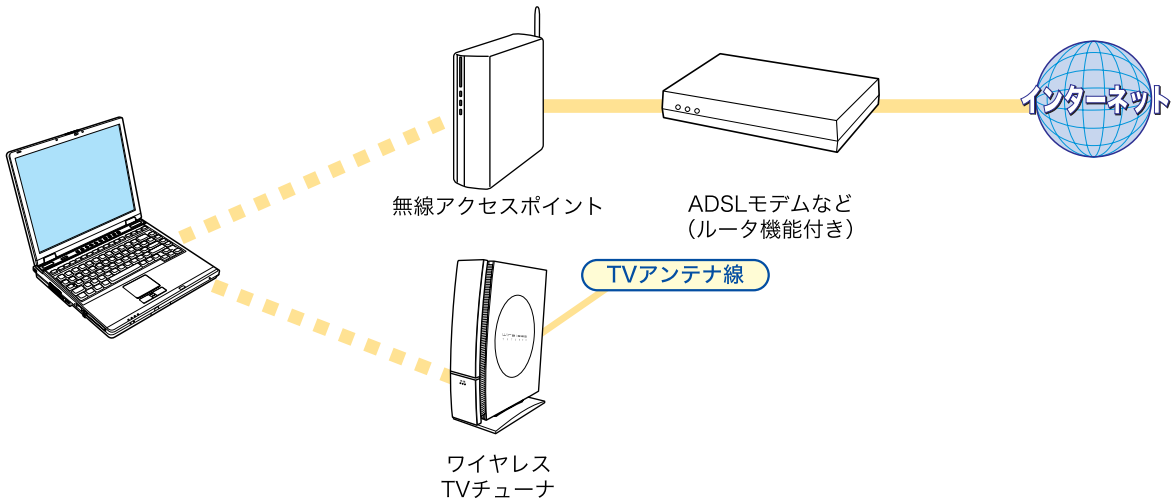
→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、15ページからの「ケース１」をご覧ください。



② 現在の接続形態を維持したままワイヤレスTVチューナを使う場合　ケース3

この接続形態をご利用になるには、パソコンに、無線LAN装置が2セット必要になります。例えば、無線LAN機能を内蔵しているパソコンをご利用の方は、別途、無線LAN PCカードが１枚必要です。無線LAN機能を内蔵していないパソコンをご利用の方は、無線LAN PCカードが2枚必要です（ただし、パソコンに2枚の無線LAN PCカードが装着できる場合に限ります。お使いのパソコンや無線LANカードの形状によっては、2枚の無線LAN PCカードを、同時に装着できない場合があります）。

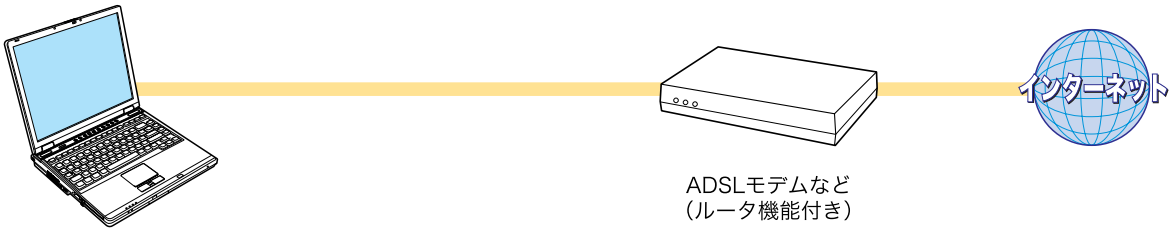
→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、20ページからの「ケース3」をご覧ください。



無線LANによる接続を示しています。　有線LANによる接続を示しています。

タイプB

現在のインターネット接続環境



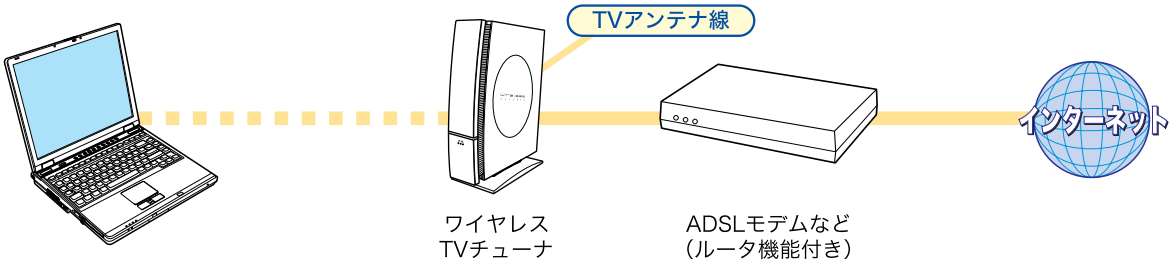
ワイヤレスTVチューナ接続後のインターネット接続環境

① ワイヤレスTVチューナをTV視聴とインターネット接続の両方に使う場合

ケース1

パソコンは、ADSLモデムとワイヤレスTVチューナから離れた場所に設置できます。ただし、ADSLモデム用の電話口などと、ワイヤレスTVチューナに接続するTVアンテナ線が近くにあり、下図のように、ADSLモデムとワイヤレスTVチューナを有線LANケーブルで接続できる場合に適用可能です。

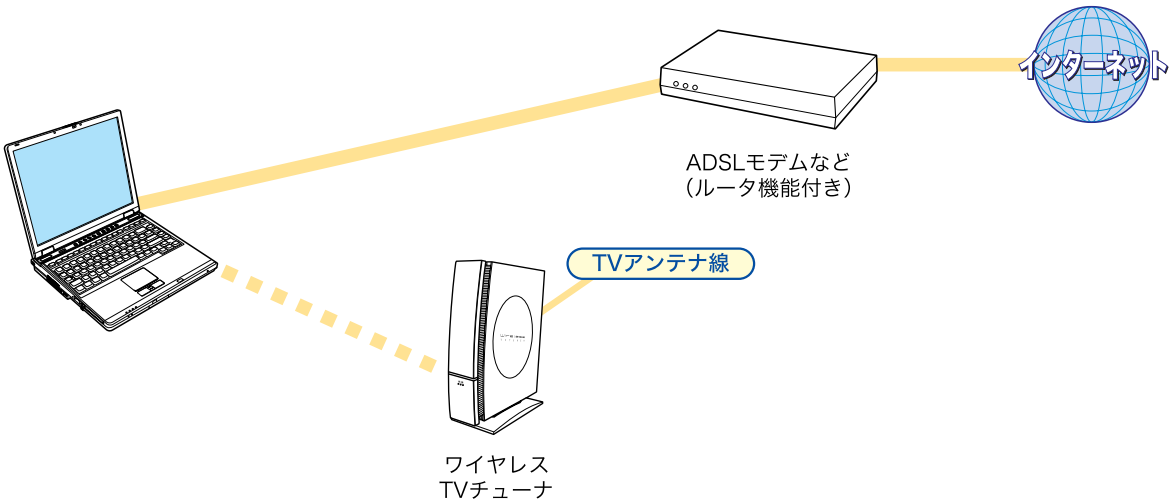
→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、 15ページからの「ケース１」をご覧ください。



② 現在の接続形態を維持したままワイヤレスTVチューナを使う場合

ケース2

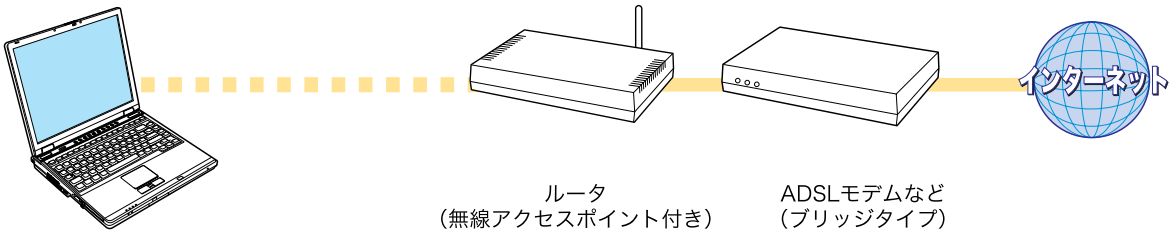
→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、 17ページからの「ケース2」をご覧ください。



無線LANによる接続を示しています。　有線LANによる接続を示しています。

タイプC

現在のインターネット接続環境



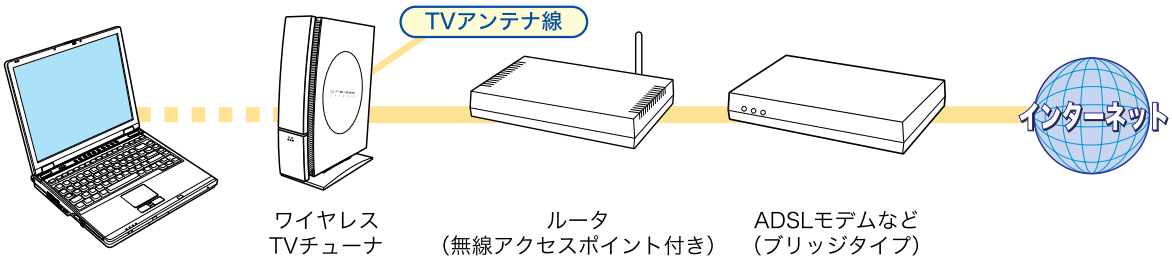
ワイヤレスTVチューナ接続後のインターネット接続環境

① ワイヤレスTVチューナをTV視聴とインターネット接続の両方に使う場合

ケース1

パソコンは、ADSLモデムとワイヤレスTVチューナから離れた場所に設置できます。ただし、ADSLモデム用の電話口などと、ワイヤレスTVチューナに接続するTVアンテナ線が近くにあり、下図のように、ルータとワイヤレスTVチューナを有線LANケーブルで接続できる場合に適用可能です。

→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、15ページからの「ケース１」をご覧ください。

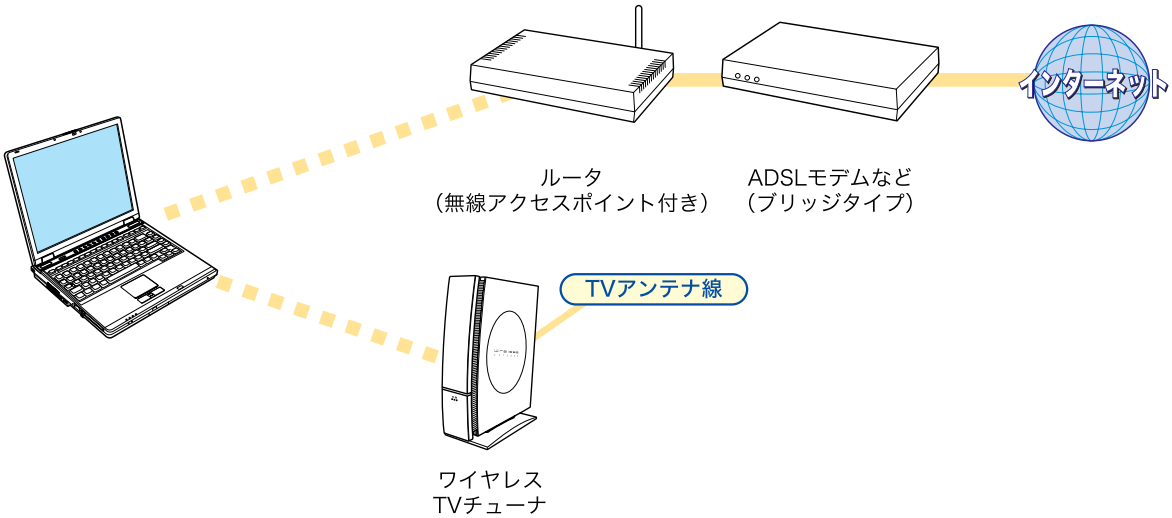


② 現在の接続形態を維持したままワイヤレスTVチューナを使う場合

ケース3

この接続形態をご利用になるには、パソコンに、無線LAN装置が2セット必要になります。例えば、無線LAN機能を内蔵しているパソコンをご利用の方は、別途、無線LAN PCカードが１枚必要です。また、無線LAN機能を内蔵していないパソコンをご利用の方は、無線LAN PCカードが2枚必要です（ただし、パソコンに2枚の無線LAN PCカードが装着できる場合に限ります。お使いのパソコンや無線LANカードの形状によっては、2枚の無線LAN PCカードを、同時に装着できない場合があります）。

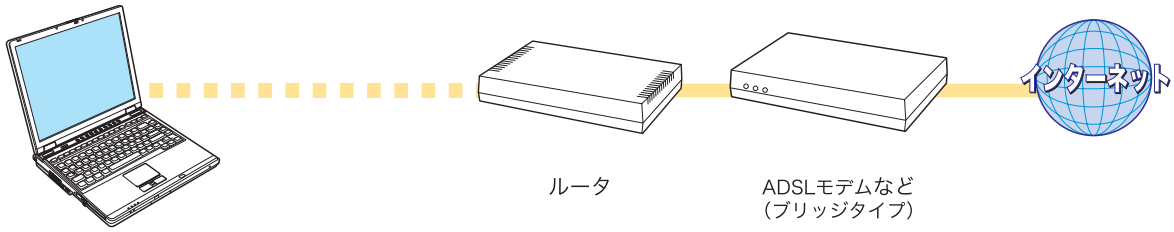
→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、20ページからの「ケース3」をご覧ください。



無線LANによる接続を示しています。　有線LANによる接続を示しています。

タイプD

現在のインターネット接続環境



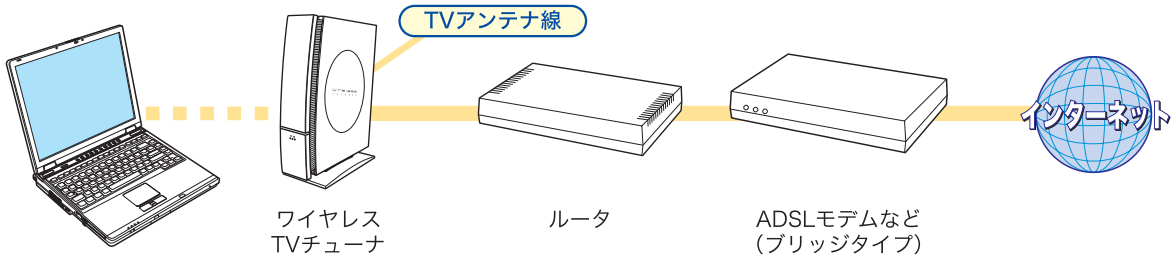
ワイヤレスTVチューナ接続後のインターネット接続環境

① ワイヤレスTVチューナをTV視聴とインターネット接続の両方に使う場合

ケース1

パソコンは、ADSLモデムとワイヤレスTVチューナから離れた場所に設置できます。ただし、ADSLモデム用の電話口などと、ワイヤレスTVチューナに接続するTVアンテナ線が近くにあり、下図のように、ルータとワイヤレスTVチューナを有線LANケーブルで接続できる場合に適用可能です。

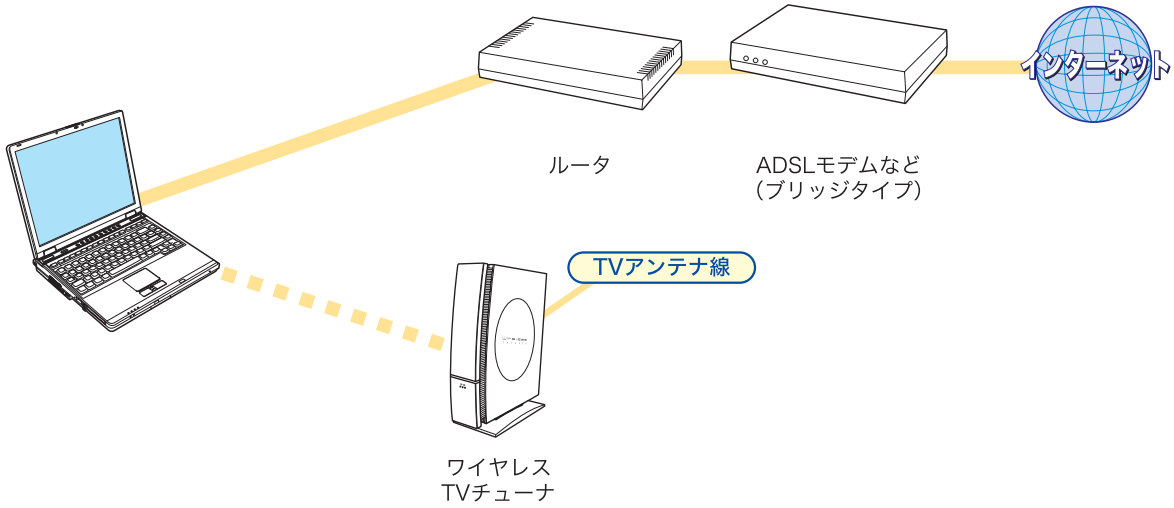
→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、15ページからの「ケース１」をご覧ください。



② 現在の接続形態を維持したままワイヤレスTVチューナを使う場合

ケース2

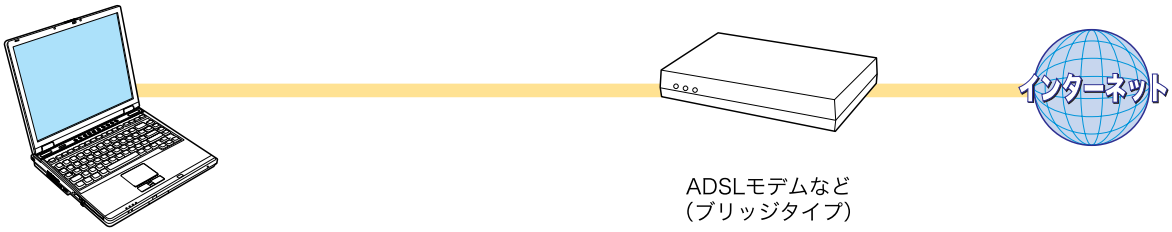
→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、17ページからの「ケース2」をご覧ください。



無線LANによる接続を示しています。　有線LANによる接続を示しています。

タイプE

現在のインターネット接続環境



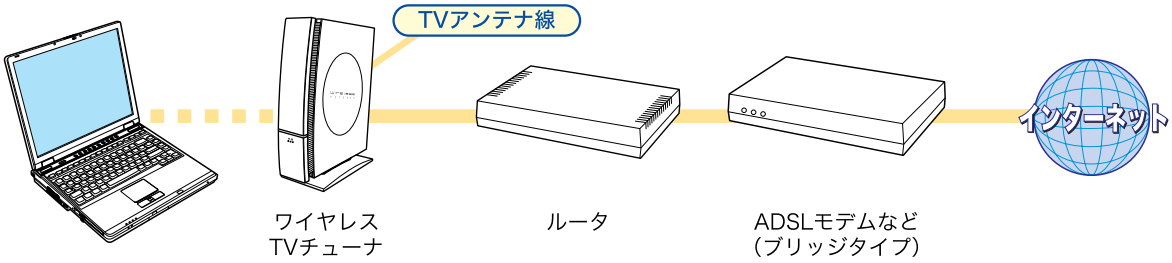
ワイヤレスTVチューナ接続後のインターネット接続環境

① ワイヤレスTVチューナをTV視聴とインターネット接続の両方に使う場合

ケース1

パソコンは、ADSLモデムとワイヤレスTVチューナから離れた場所に設置できます。ただし、ADSLモデム用の電話口などと、ワイヤレスTVチューナに接続するTVアンテナ線が近くにあり、下図のように、ルータとワイヤレスTVチューナを有線LANケーブルで接続できる場合に適用可能です。
この接続では、別途ルータを購入する必要があります。

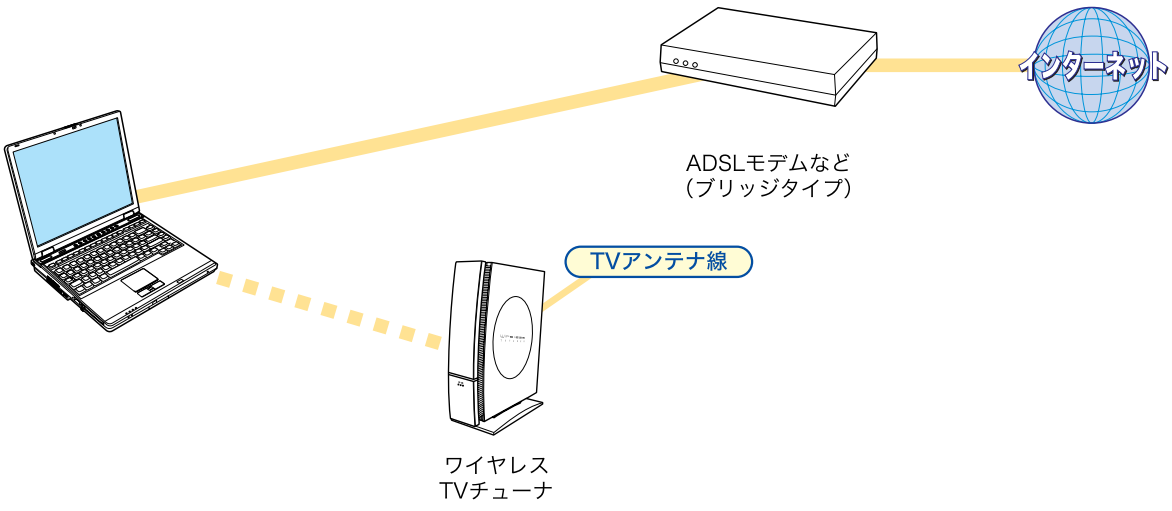
→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、15ページからの「ケース１」をご覧ください。



② 現在の接続形態を維持したままワイヤレスTVチューナを使う場合

ケース2

→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、17ページからの「ケース2」をご覧ください。



無線LANによる接続を示しています。　有線LANによる接続を示しています。

タイプF

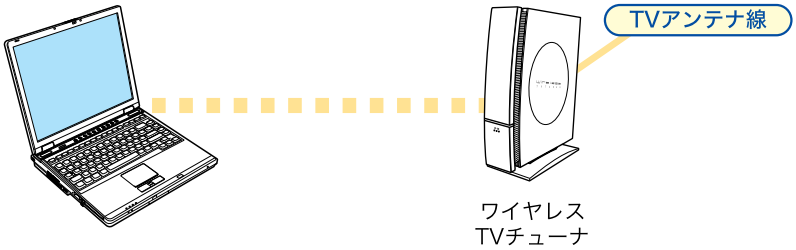
現在のインターネット接続環境

ワイヤレスTVチューナ接続後のインターネット接続環境

① インターネットを利用していない、または、モデムを使用してインターネットを利用する環境で使用する場合

ケース4

→ 9ページからの共通の操作・設定を行った後、利用形態別の設定は、23ページからの「ケース4」をご覧ください。



■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 無線LANによる接続を示しています。　　有線LANによる接続を示しています。

2. パソコンのファイアウォール機能を無効にする

設定の流れ

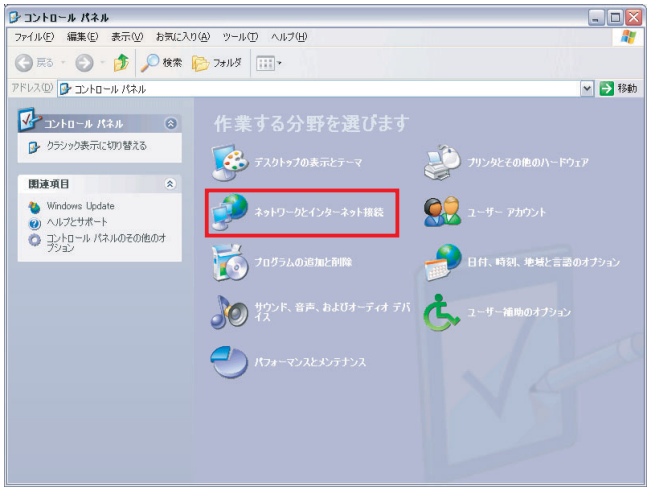
OSのファイアウォール機能の設定を変更する

ファイアウォールソフトウェアのファイアウォール機能の設定を無効にする

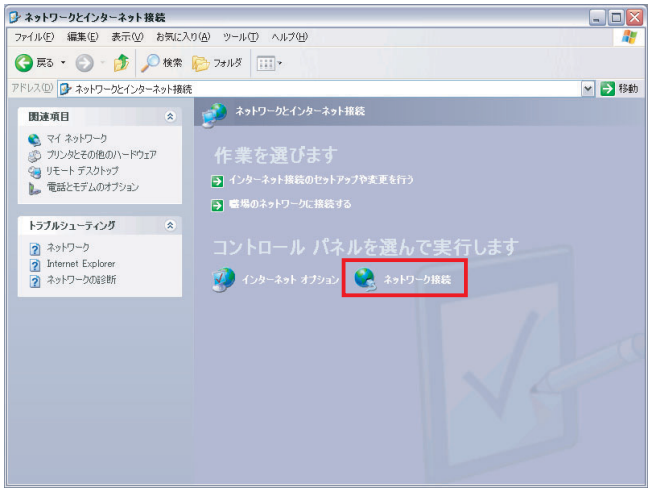
● OSのファイアウォール機能の設定を変更する

次の手順に従って、ファイアウォール機能を無効にします。

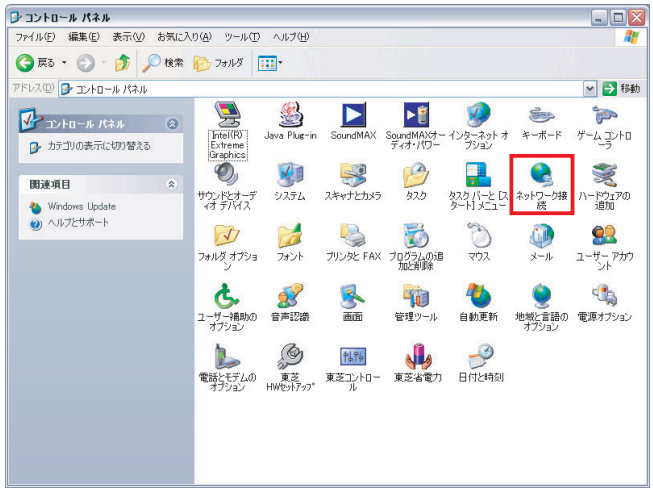
1. [スタート]-[コントロールパネル]をクリックする。
2. [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。



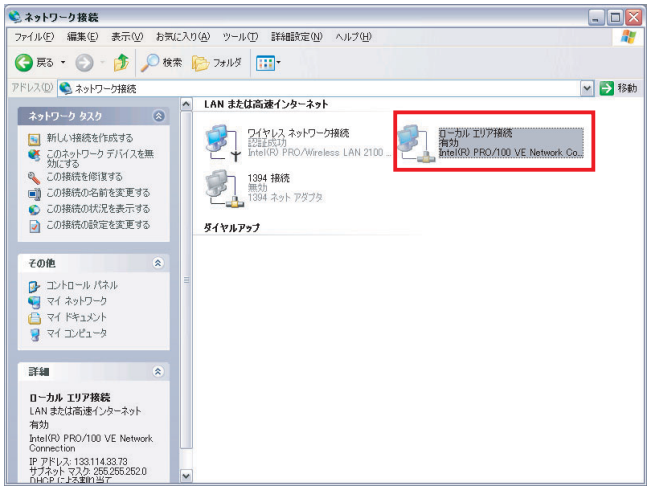
3. 表示された画面で、[ネットワーク接続]をクリックする。



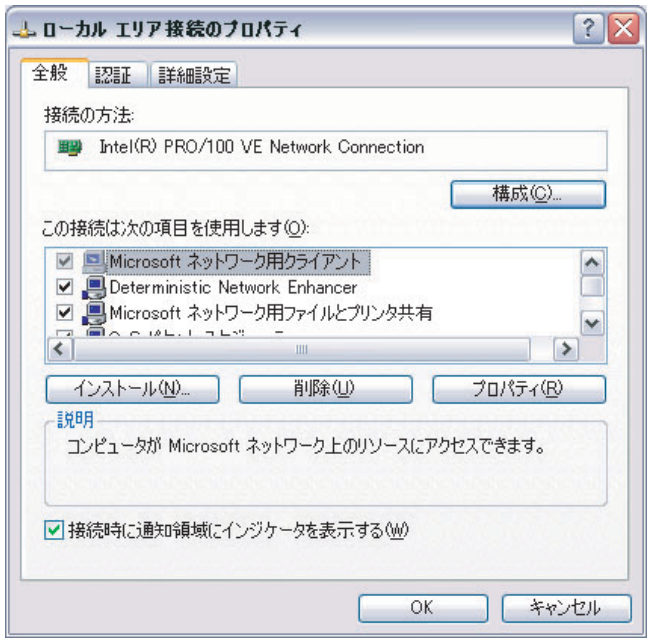
コントロールパネルの表示が、クラシック表示の場合：
[ネットワーク接続]をクリックする。



4. [ローカルエリア接続]を選択し、マウスの右ボタンをクリックする。



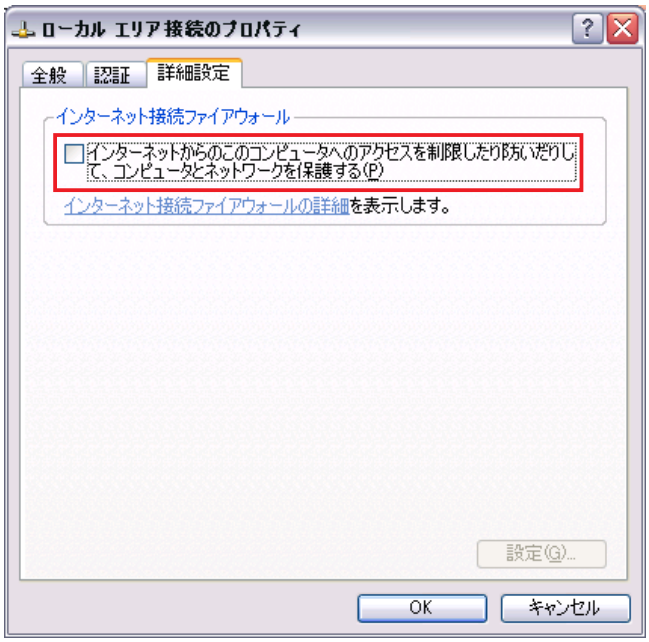
5. ポップアップメニューから、[プロパティ]を選択する。
[ローカルエリア接続のプロパティ]画面が表示されます。



次の手順は、OSのバージョンにより設定方法が異なります。OSのバージョンに沿って設定を行ない、次の手順6へお進みください。

Microsoft Windows XP Service Pack 1をお使いの場合

6. [詳細設定]タブをクリックし、ファイアウォールの使用のチェックボックスのチェックを外す。

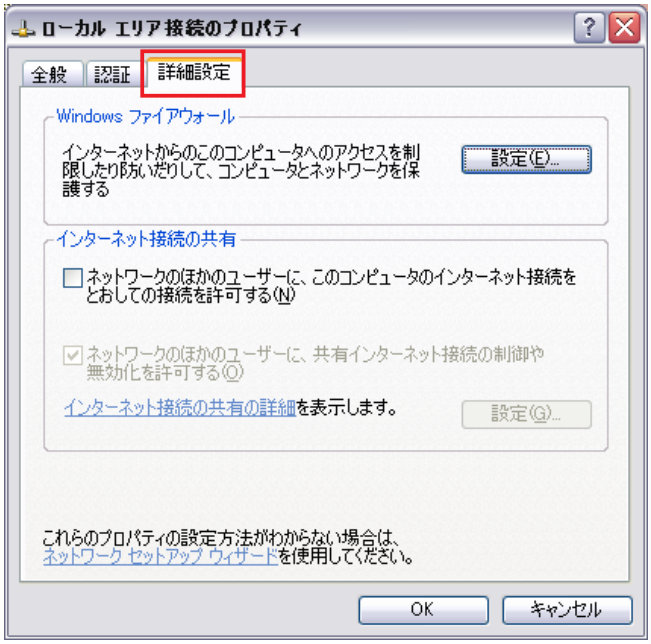


重要：
ワイヤレスネットワーク接続についても同様に、ファイアウォールの設定をオフにします（手順4のネットワーク接続ダイアログで、「ワイヤレス　ネットワーク接続」を選択し、手順5、6と同様の手順で、ファイアウォールの設定をオフにします）。

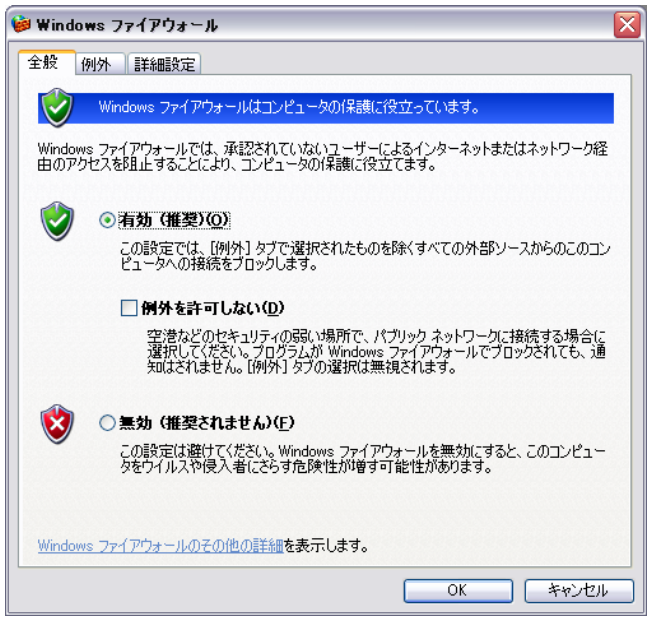
重要：
初期設定完了後、通常の使用時もMicrosoft Windows XP Service Pack 1に標準装備のファイアウォールはご使用になれません。

Microsoft Windows XP Service Pack 2をお使いの場合

6. [詳細設定]タブをクリックする。

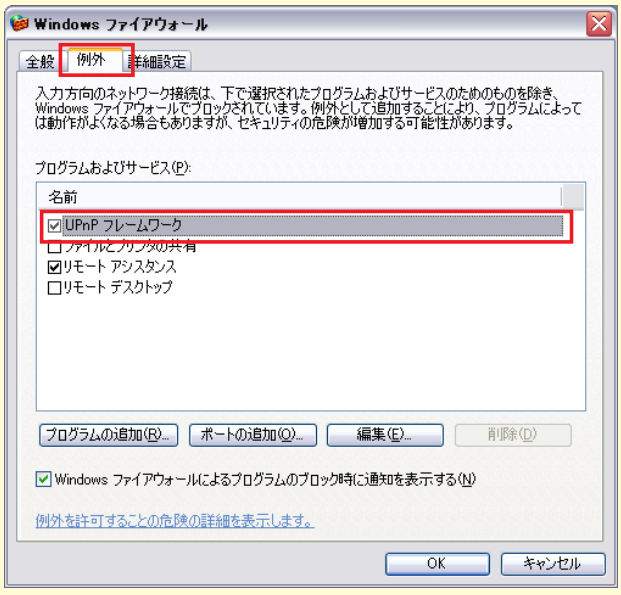


7. [設定]ボタンを押す。
次の画面が表示されます。



8. [無効（推奨されません）]を選択する。

お願い
ワイヤレスTVチューナの初期設定が完了してから、ファイアウォールの機能を有効にできます。ただし、有効にした場合でも、[例外を許可しない]オプションにチェックを付けないでください。また、[例外タブ]をクリックして表示されるウィンドウで、[プログラムおよびサービス]の[UPnPフレームワーク]がチェックされている必要がありますので確認してください。



● ファイアウォールソフトウェアのファイアウォール機能の設定を無効にする

東芝製ノートパソコンには、Norton Internet SecurityまたはMcAfee Personal Firewall Plusが、プレインストールされている場合があります。その場合には、これらのソフトウェアのファイアウォール機能を一時的に無効にします。

お使いのソフトウェアを確認し、該当するソフトの設定を行なってください。

Norton Internet Securityの場合

次の手順に従って、Norton Internet Securityのファイアウォールの設定を無効にしてください。

1. 「通知領域」の[Norton Internet Security]アイコン をダブルクリックする。
   「Norton Internet Security」の画面が開きます。

2. 画面左から、[状態と設定(S)]→[ファイアウォール]→[無効にする]ボタンの順にクリックする

McAfee Personal Firewall Plusの場合

次の手順に従って、McAfee Personal Firewall Plusのファイアウォールの設定を無効にしてください。

1. 「通知領域」の「McAfee Security Center」アイコン をダブルクリックする。
   「McAfee Security Center」の画面が開きます。
2. [Personal Firewall+]メニュータブをクリックする。

3. 無効にするために、ウィンドウ上部の[ここをクリック]をクリックする。

3.ワイヤレスTVチューナの初期設定を行う

ワイヤレスTVチューナのネットワークなどに関する初期設定値は、次表のようになっています。初期設定ではIPアドレスには、固定IPアドレスが割り振られています。

項目	出荷時設定
IPアドレス	192.168.0.120
サブネットマスク	255.255.255.0
管理ユーザ名	admin
管理パスワード	設定なし

初期設定の流れ

テレビアンテナを接続する

↓

付属のLANケーブル（クロスケーブル）で、パソコンと接続する

↓

ワイヤレスTVチューナの電源をONにする

↓

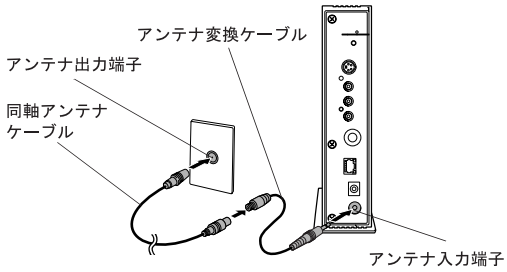
パソコンのIPアドレスを固定IPアドレスにする

↓

ワイヤレスTVチューナ本体の初期設定（チャンネル設定）を行う

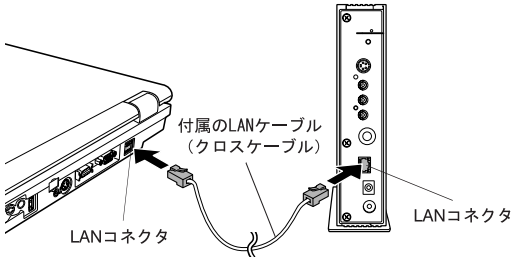
● テレビアンテナを接続する

1. 市販の同軸アンテナケーブルの先端に、本製品付属のアンテナ変換ケーブルを取り付ける。
2. アンテナ変換ケーブルの端子を背面のアンテナ入力端子に接続する。
3. 同軸ケーブルの片方の端を、壁面などのアンテナ出力端子に接続する。



● 付属のLANケーブル（クロスケーブル）で、パソコンと接続する

1. ワイヤレスTVチューナ付属のLANケーブル（クロスケーブル）で、ワイヤレスTVチューナとパソコンを接続します。

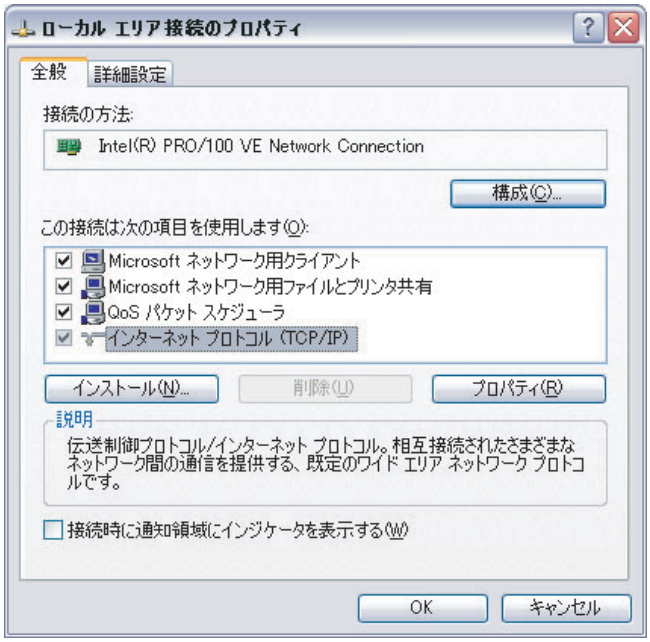


● ワイヤレスTVチューナの電源をONにする

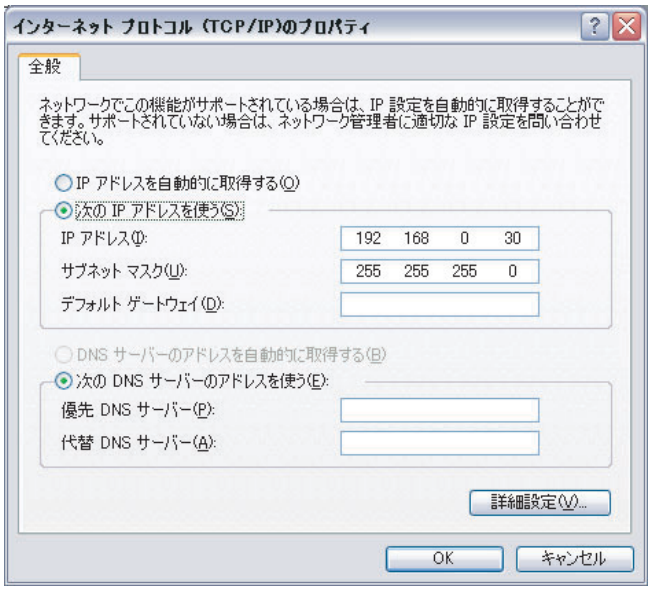
1. ワイヤレスTVチューナ本体に同梱されているACアダプタと電源ケーブルを接続する。
2. ワイヤレスTVチューナ本体の電源をONにする。
3. パソコンにACアダプタが接続されていることを確認し、電源をONにする。

● パソコンのIPアドレスを固定IPアドレスにする

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]-[ローカルエリア接続]を実行する。
   「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。



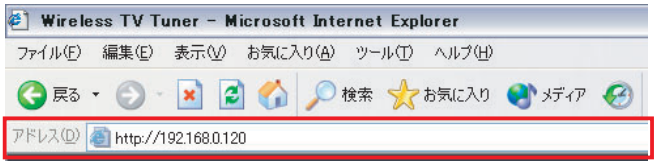
2. 「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。
   「インターネット プロトコル(TCP/IP)」画面が表示されます。



3. 「次のIPアドレスを使う」をクリックし、IPアドレス欄に「192.168.0.30」、サブネットマスク欄に「255.255.255.0」を入力する。
4. [OK]ボタンをクリックし、ネットワーク接続の設定を終了する。

● ワイヤレスTVチューナ本体の初期設定（チャンネル設定）を行う

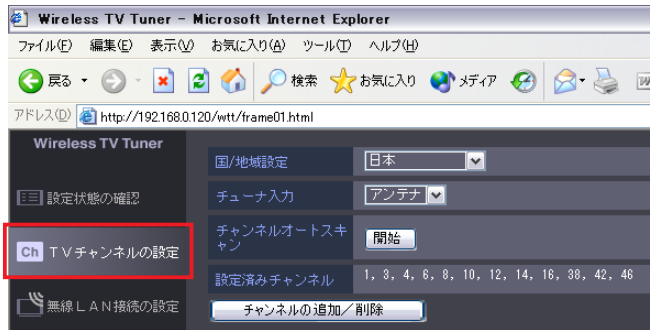
1. Internet Explorerを表示させ、アドレス欄にワイヤレスTVチューナの初期設定のIPアドレス「192.168.0.120」を入力し、[Enter]キーを押す。



2. 言語選択画面で「日本語」を選択する。

3. ログイン画面で、アカウント名に「admin」と入力し、パスワードは空欄のまま[ログイン]ボタンをクリックする。

4. [TVチャンネルの設定]メニュータブをクリックする。



5. チューナ入力方法（アンテナまたはCATV）を選択し、「チャンネルオートスキャン」の[開始]ボタンをクリックする。

4. パソコンにソフトウェアをインストールする

パソコンにワイヤレスTVチューナを利用するためのソフトウェアがプレインストールされている場合はこのインストール作業は不要です。次の「UPnP機能のインストールを確認する」にお進みください。

1. パソコンのCD-ROM装置に、ワイヤレスTVチューナに付属のドライバ・アプリケーションCD-ROMをセットする。
   自動的にインストール画面が表示されます。
2. 画面の指示に従い、「ドライバ/ユーティリティ」と「InterVideo WinDVR™ 5 for TOSHIBA」をインストールする。

お願い
QosmioE10など、「InterVideo WinDVR™ 3 for TOSHIBA」がインストールされている場合は、アンインストールしてから、「ドライバ/ユーティリティ」と「InterVideo WinDVR™ 5 for TOSHIBA」をインストールしてください。

5. UPnP機能のインストールを確認する

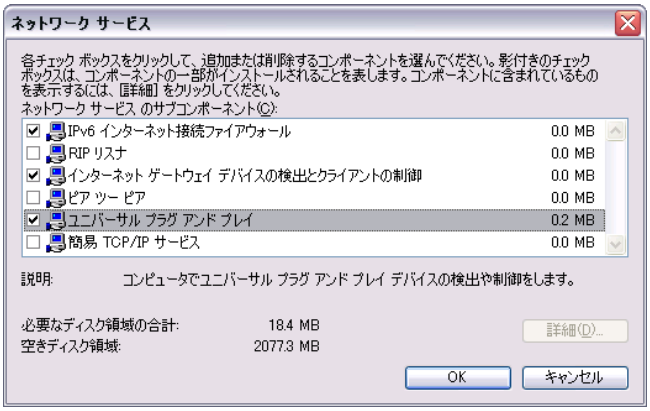
ワイヤレスTVチューナを利用するためのソフトウェアがインストールされると、UPnP機能も自動的にインストールされます。次の手順で、インストールを確認ください。

1. [スタート]-[コントロールパネル]をクリックする。
2. [プログラムの追加と削除]をクリックする。
3. [Windowsコンポーネントの追加と削除]をクリックする。
4. [ネットワークサービス]のチェックボックスをクリックし、[詳細]をクリックする。

次の手順は、OSのバージョンにより設定方法が異なります。OSのバージョンに沿って設定を行ない、次の手順6へお進みください。

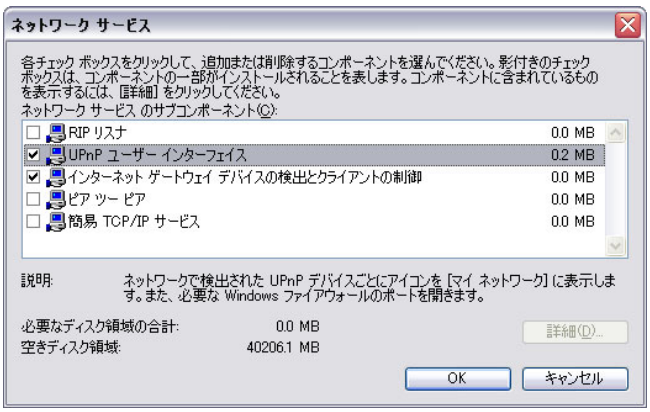
Windows XP Service Pack 1の場合

5. [ユニバーサルプラグアンドプレイ]のチェックボックスがチェックされていることを確認する。



Windows XP Service Pack 2の場合

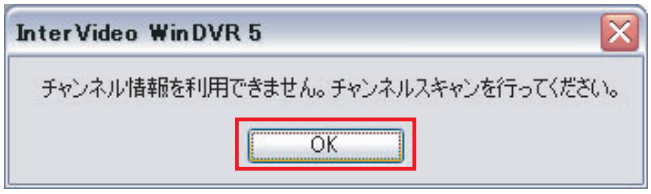
5. [UPnPユーザーインターフェイス]のチェックボックスがチェックされていることを確認する。



6. WinDVR5の初期設定を行う

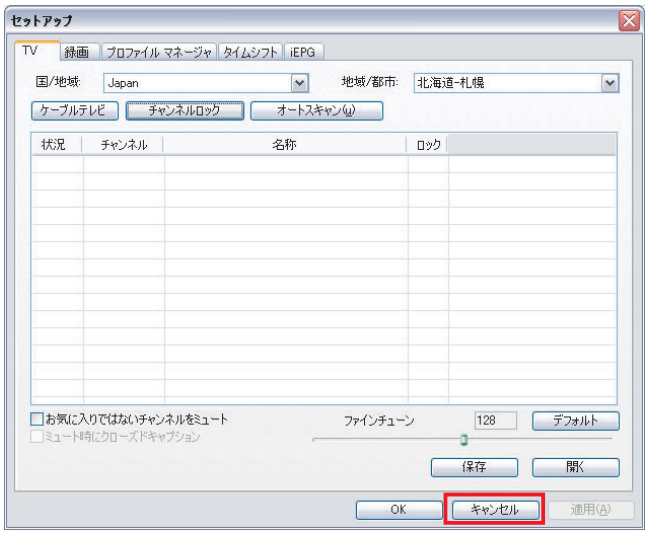
WinDVR5でテレビを視聴できるようにするために、WinDVR5でもチャンネルオートスキャンを行う必要があります。

1. WinDVR5を起動する。
2. 次のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックする。



このメッセージは、はじめて、WinDVR5を起動したときにのみ表示されます。

次の「セットアップ」ウィンドウが表示されたら、[キャンセル]ボタンを押して、ウィンドウを閉じます。



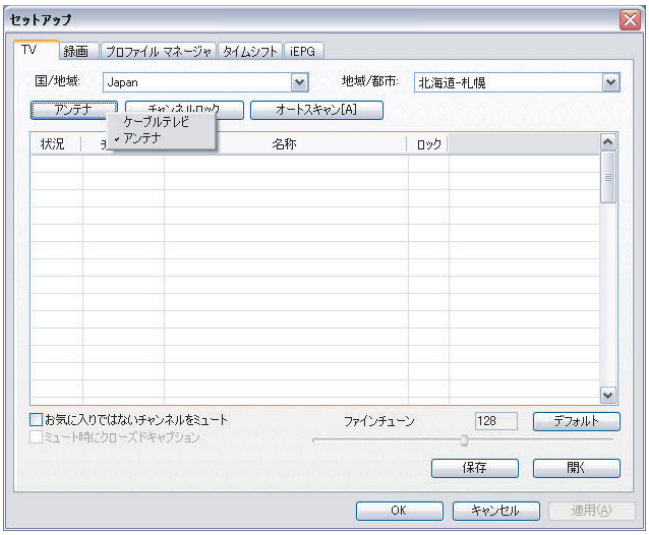
3. [ソース]ボタン をクリックし、「TOSHIBA Wireless TV Tuner Capture TV」を選択する。

4. WinDVR5のテレビ表示ウィンドウで、マウスの右ボタンをクリックして表示されるポップアップメニューから、[セットアップ]を選択する。

5. [接続状況に合わせて、アンテナまたはケーブルテレビを選択する。

お願い
「ワイヤレスTVチューナ本体の初期設定（チャンネル設定）を行う」で選択した方式と同じ方式を選択してください。

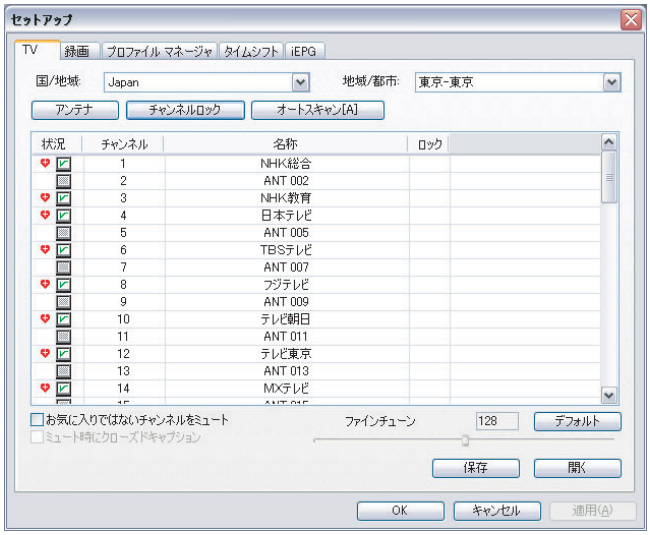
「本体の設定：アンテナ」の場合
→「アンテナ」を選択します。
「本体の設定：CATV」の場合
→「ケーブルテレビ」を選択します。



6. テレビを受信する地域を選択する。
お使いになる近くの地域・都市名を選択してください。近くの地域・都市名を選択しても、正しい放送局名が割り当てられない場合は、別の近隣の地域・都市名を選択してください。それでも、正しい放送局名が割り当てられない場合は、チャンネルオートスキャンの完了後、正しい放送局名を入力してください。

7. [オートスキャン]ボタンをクリックする。

8. チャンネルを確認し、表示しないチャンネルがあれば、❤ のチェックをはずす。



以上で設定が完了です。
ワイヤレスTVチューナとパソコンが、付属のLANケーブル（クロスケーブル）で接続された状態で、ワイヤレスTVチューナで受信したTV映像をWinDVR5を用いて視聴できることを確認してください。
TV映像を視聴できることを確認した後に、WinDVR5を終了してください。

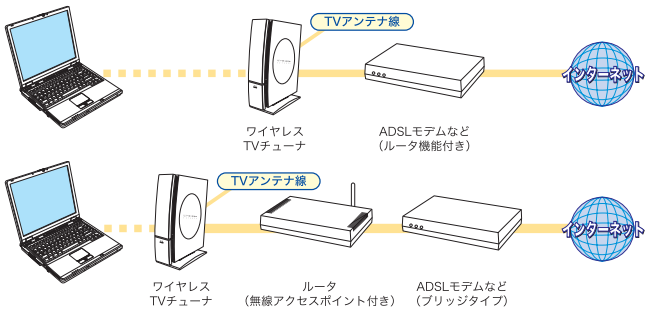
次に、「1.接続形態を確認する」でご確認いただいた利用形態に応じた設定を行いますので指示された該当のケースにお進みください。

ケース1：15ページへ
ケース2：17ページへ
ケース3：20ページへ
ケース4：23ページへ

利用形態に応じた設定を行う（ケース1）

ケース1:
ワイヤレスTVチューナをTV視聴とインターネット接続の両方に使う場合。
パソコンは、ADSLモデムとワイヤレスTVチューナから離れた場所に設置する。ADSLモデム用の電話口と、ワイヤレスTVチューナに接続するTVアンテナ線は近くにあるので有線LANケーブル接続できる場合に適用可能です。

代表例



設定の流れ

お願い
まず、9ページから14ページまでの「共通の操作・設定」の設定手順が完了していることを確認してください。

付属のLANケーブル（クロスケーブル）で、パソコンと接続していることを確認してください

↓

ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する

↓

パソコンとワイヤレスTVチューナを接続しているLANケーブル（クロスケーブル）を外す

↓

ワイヤレスTVチューナとルータ付ADSLモデムまたはルータなどを市販のLANケーブル(ストレートケーブル)で接続する

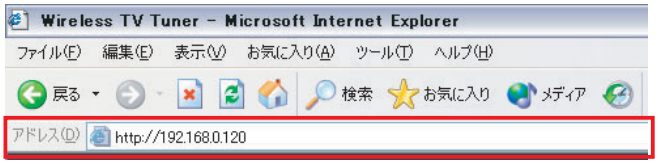
↓

パソコンのワイヤレスネットワークの設定を変更する

● ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する

お願い
この段階では、ワイヤレスTVチューナと、ルータ（ルータ付ADSLモデムを含む）は、接続しないでください。

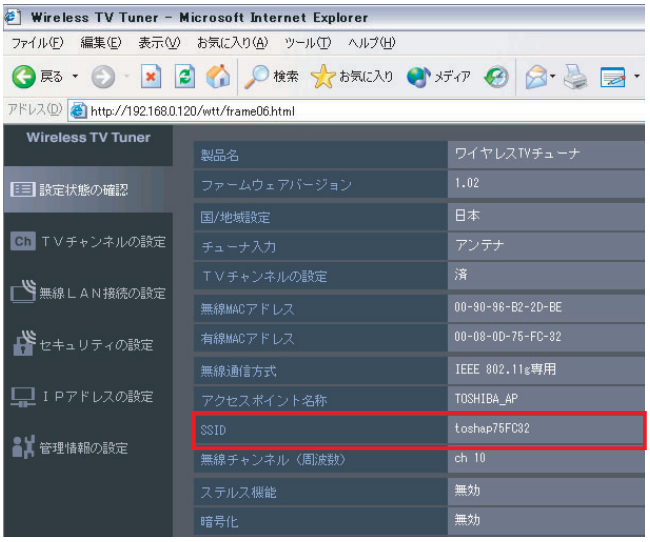
1. Internet Explorerを表示させ、アドレス欄にワイヤレスTVチューナの初期設定のIPアドレス「192.168.0.120」を入力し、[Enter]キーを押す。



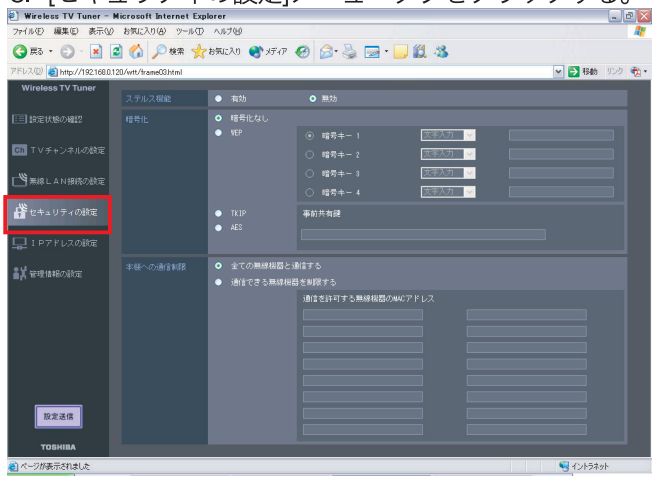
2. 言語選択画面で「日本語」を選択する。

3. ログイン画面で、アカウント名に「admin」、パスワードは空欄のまま[ログイン]ボタンをクリックする。

4. SSIDの値を確認する。
パソコンからワイヤレスTVチューナに接続するときに必要な情報になります。忘れないようにするために、メモしておくことをお勧めします。



5. [セキュリティの設定]メニュータブをクリックする。



ここでは、暗号化方式として、[WEP]を使用する方式を説明します。その他の暗号方式をご利用の方は、ワイヤレスTVチューナの取扱説明書も、あわせてご覧ください。

6. 「WEP」を選択し、「暗号キー１」を選択する。

7. 「文字入力」を選択し、任意の13文字の英数記号文字を入力する。
必ず13文字の英数記号文字を入力してください。ここで、入力した文字は、パソコンの無線LAN設定時にも使用しますので、忘れないようにしてください。また、セキュリティの観点から、文字入力では、辞書に載っている単語は使わず、意味のない英数字と記号を、適宜組み合わせることをおすすめします。
使用可能な記号文字は、次のものになります。
! " % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? _

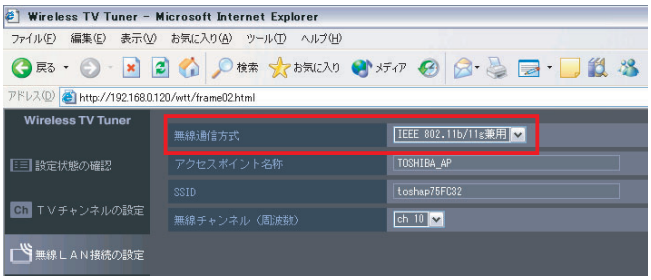
8. [設定送信]ボタンをクリックする。

設定が完了すると、「設定状態の確認」画面が表示されます。

IEEE802.11b方式の無線LAN通信のみをサポートしているパソコン（IEEE802.11g方式の無線LAN通信をサポートしていないパソコン）をお使いになる場合は、次の手順9～11の設定を行ってください。

IEEE802.11g方式の無線LAN通信をサポートしているパソコンをお使いのユーザは、手順12へお進みください。

9. 「無線LAN接続の設定」メニュータブをクリックする。
10. 「無線通信方式」を「IEEE 802.11b/11g兼用」に変更する。



11. [設定送信]ボタンをクリックする。
    次からは全員が行う操作です。
12. 「IPアドレスの設定」メニュータブをクリックする。
13. [自動で設定する]を選択する。

14. [設定送信]ボタンをクリックする。
15. 画面に警告メッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックし、ワイヤレスTVチューナの電源を切る。

● パソコンとワイヤレスTVチューナを接続しているLANケーブル（クロスケーブル）を外す

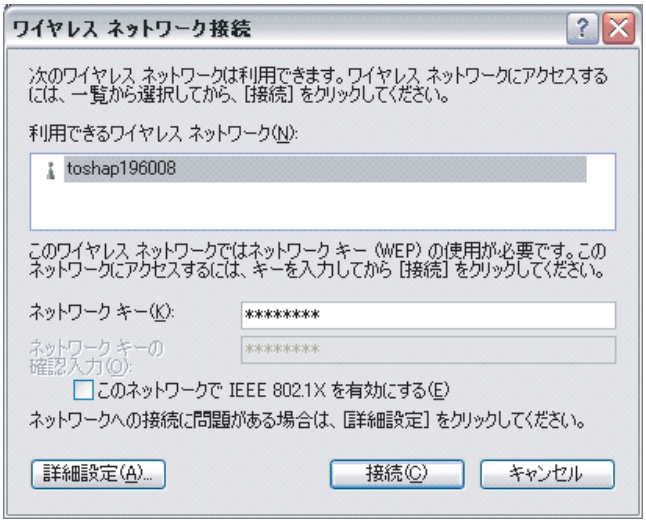
設定のために使用したLANケーブル（クロスケーブル）を外してください。

● ワイヤレスTVチューナとルータ付ADSLモデムまたはルータなどを市販のLANケーブル（ストレートケーブル）で接続する

1. 市販のLANケーブル（ストレートケーブル）で、ワイヤレスTVチューナと、ルータ付ADSLモデムまたはルータなどを接続する。
2. インターネット接続機器（ADSLモデムなど）の電源を入れる。
3. ルータが接続されている場合は、インターネット接続機器の起動完了後、ルータの電源を入れる。
4. ワイヤレスTVチューナの電源を入れる。

● パソコンのワイヤレスネットワークの設定を変更する

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]-[ワイヤレス ネットワーク接続]を選択する。
2. マウスの右ボタンをクリックし、ポップアップメニューから、[プロパティ]を選択する。
   「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。
3. インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。
   「インターネット プロトコル(TCP/IP)」画面が表示されます。
4. [IPアドレスを自動的に取得する]が選択されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックする。
5. パソコンの画面右下のタスクトレイにある「ネットワーク接続」アイコンまたはを右クリックし、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」を選択する。
   次の画面が表示されます。



メモ
表示される画面は使用するOSのバージョンによって異なります。

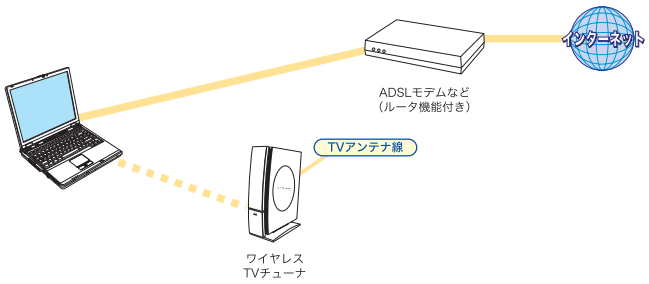
6. 「ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する」の手順4でメモしたSSIDと同じ名称のものを、「利用できるワイヤレス ネットワーク」一覧から選択する。
7. ネットワーク キーの欄に、「ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する」の手順7で入力した13文字の英数記号文字を入力する。
8. 「このネットワークで、IEEE 802.1Xを有効にする」のチェックが外れていることを確認する。
9. [接続]ボタンをクリックする。
   正しく接続すると、画面の右下に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と一時的に表示されます。

ここまで設定が終わりましたら、26ページの「パソコンのファイアウォールを適切に設定する」をお読みください。

利用形態に応じた設定を行う（ケース2）

ケース2：
・パソコンはADSLモデムの近くに設置する。TVアンテナ線はパソコンから離れた場所にある場合
・インターネットは速度重視なので有線LANで使用する。TVは、無線LANを使って、気軽に視聴したい場合

代表例



設定の流れ

お願い
まず、9ページから14ページまでの「共通の操作・設定」の設定手順が完了していることを確認してください。

付属のLANケーブル（クロスケーブル）で、パソコンと接続していることを確認してください

↓

ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する

↓

パソコンとワイヤレスTVチューナを接続しているLANケーブル（クロスケーブル）を外す

↓

パソコンのワイヤレスネットワークの設定を変更する

↓

パソコンのローカルネットワークの設定を変更する

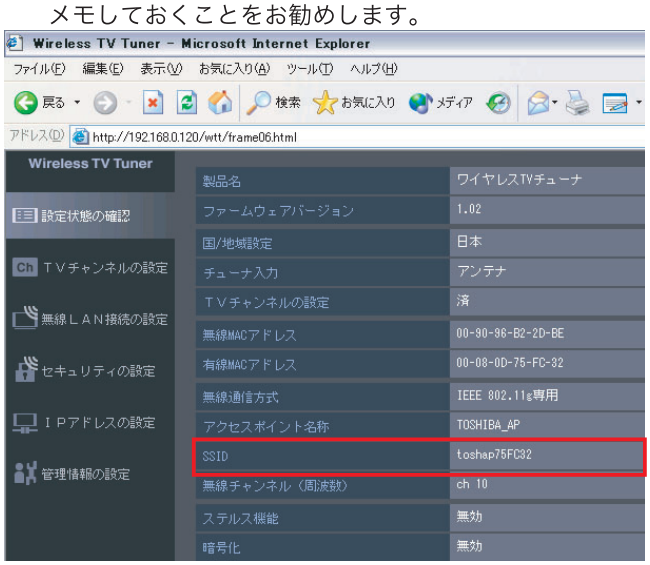
↓

パソコンと、ルータまたはインターネット接続機器（ADSLモデムなど）を接続する

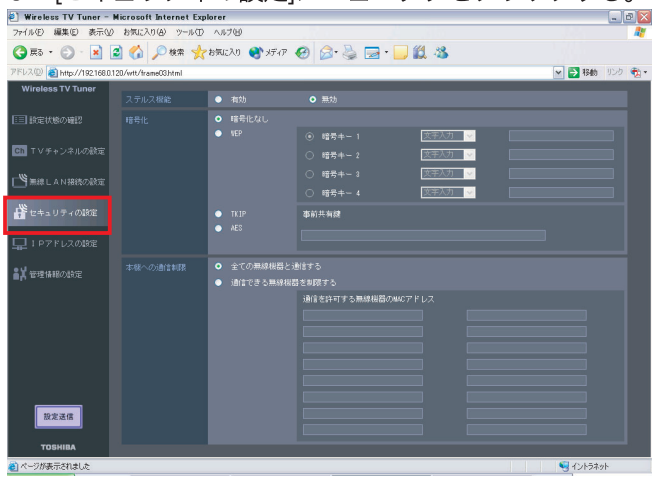
● ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する

1. Internet Explorerを表示させ、アドレス欄にワイヤレスTVチューナの初期設定のIPアドレス「192.168.0.120」を入力し、[Enter]キーを押す。

2. 言語選択画面で「日本語」を選択する。
3. ログイン画面で、アカウント名に「admin」、パスワードは空欄のまま[ログイン]ボタンをクリックする。
4. SSIDの値を確認する。
   パソコンからワイヤレスTVチューナに接続するときに必要な情報になります。忘れないようにするために、メモしておくことをお勧めします。



5. [セキュリティの設定]メニュータブをクリックする。



ここでは、暗号化方式として、[WEP]を使用する方式を説明します。その他の暗号方式をご利用の方は、ワイヤレスTVチューナのマニュアルも、あわせてご覧ください。

6. 「WEP」を選択し、「暗号キー１」を選択する。
7. 「文字入力」を選択し、任意の13文字の英数記号文字を入力する。

必ず13文字の英数記号文字を入力してください。ここで、入力した文字は、パソコンの無線LAN設定時にも使用しますので、忘れないようにしてください。また、セキュリティの観点から、文字入力では、辞書に載っている単語は使わず、意味のない英数字と記号を、適宜組み合わせることをおすすめします。
使用可能な記号文字は、次のものになります。

!" % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? _

8. [設定送信]ボタンをクリックする。

設定が完了すると、「設定状態の確認」画面が表示されます。

お願い
IEEE802.11b方式の無線LAN通信のみをサポートしているパソコン（IEEE802.11g方式の無線LAN通信をサポートしていないパソコン）をお使いになる場合は、次の手順9～11の設定を行ってください。

9. 「無線LAN接続の設定」メニュータブをクリックする。

10. 「無線通信方式」を「IEEE 802.11b/11g兼用」に変更する。

11. [設定送信]ボタンをクリックする。

● パソコンとワイヤレスTVチューナを接続しているLANケーブル（クロスケーブル）を外す

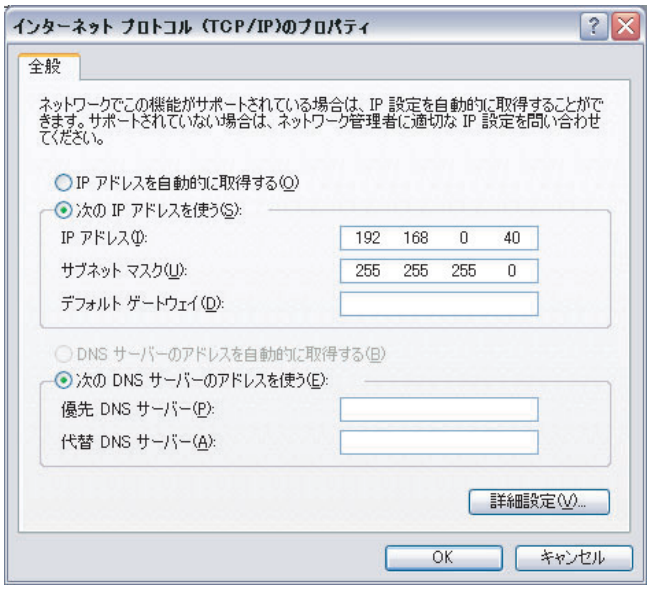
設定のために使用したLANケーブル（クロスケーブル）を外してください。

● パソコンのワイヤレスネットワークの設定を変更する

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]-[ワイヤレス ネットワーク接続]を選択する。

2. マウスの右ボタンをクリックし、ポップアップメニューから、[プロパティ]を選択する。
「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。

3. 「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。
「インターネット プロトコル(TCP/IP)」画面が表示されます。

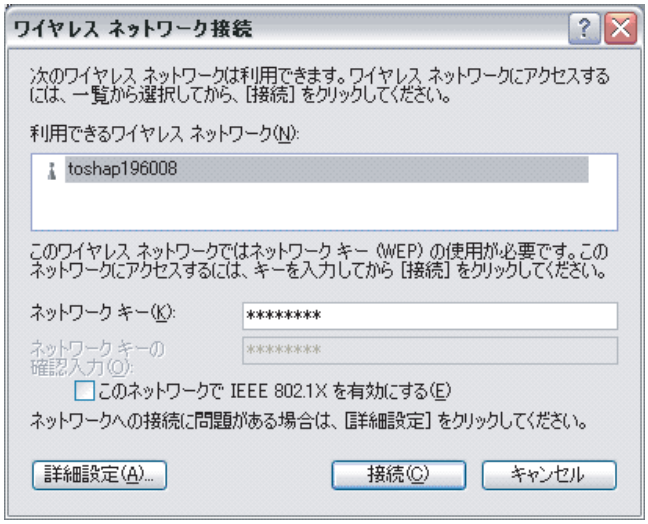


4. 「次のIPアドレスを使う」をクリックし、IPアドレス欄に「192.168.0.40」、サブネットマスク欄に「255.255.255.0」を入力する。

お願い
2台目以降のパソコンでは、192.168.0.xx（xxは、30、40、120以外の値）を指定してください。

5. [OK]ボタンをクリックする。

6. パソコンの画面右下のタスクトレイにある「ネットワーク接続」アイコンまたはを右クリックし、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」を選択する。
次の画面が表示されます。



表示される画面は使用するOSのバージョンによって異なります。

7. 「ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する」の手順4でメモしたSSIDと同じ名称のものを、「利用できるワイヤレス ネットワーク」一覧から選択する。

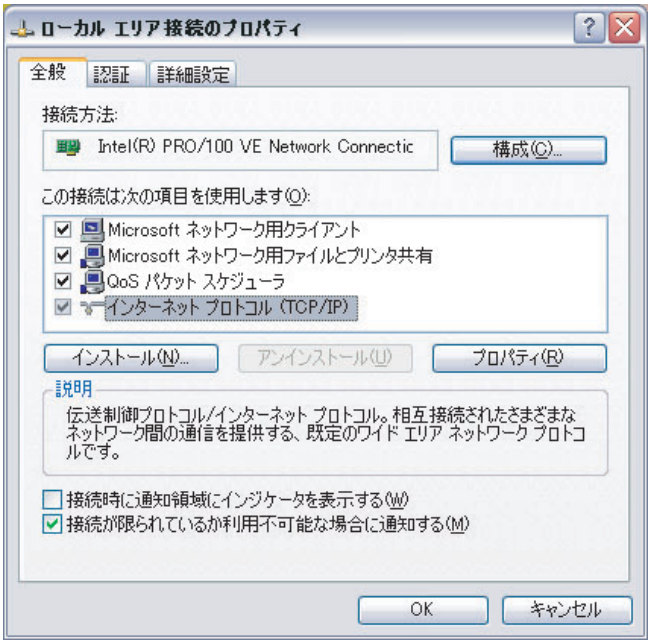
8. ネットワーク キーの欄に、「ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する」の手順7で入力した13文字の英数記号文字を入力する。

9. 「このネットワークで、IEEE 802.1Xを有効にする」のチェックが外れていることを確認する。
10. [接続]ボタンをクリックする。
    正しく接続すると、画面の右下に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と一時的に表示されます。

● パソコンのローカルネットワークの設定を変更する

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]-[ローカルエリア接続]を実行する。

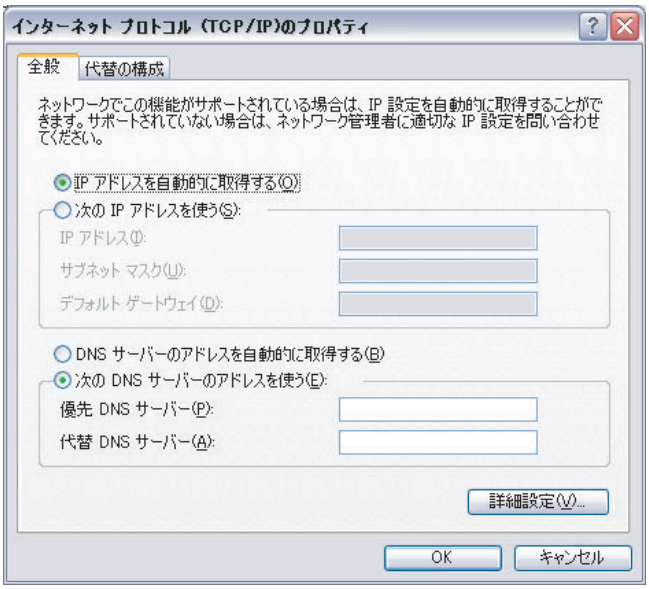
   「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。



2. 「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。

   「インターネット プロトコル(TCP/IP)」画面が表示されます。

3. 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択する。



4. [OK]ボタンをクリックし、ネットワーク接続の設定を終了する。

● パソコンと、ルータまたはインターネット接続機器（ADSLモデムなど）を接続する

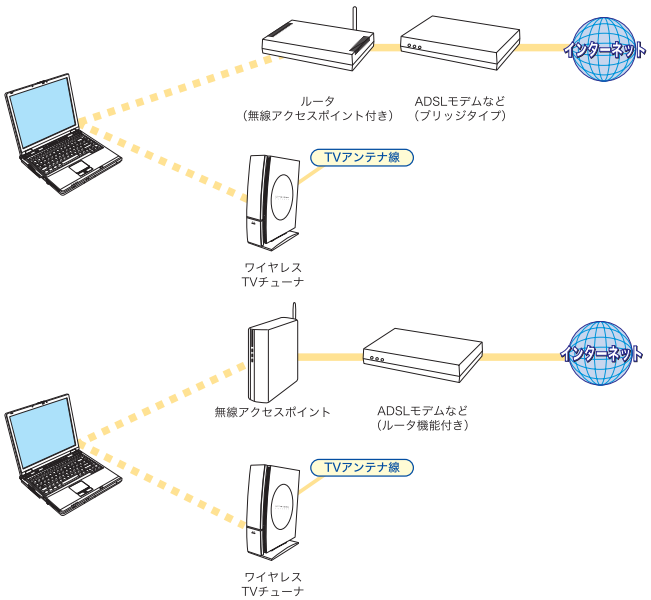
市販のLANケーブル（ストレートケーブル）で、パソコンとルータまたはインターネット接続機器（ADSLモデムなど）を接続してください。

ここまで設定が終わりましたら、26ページの「パソコンのファイアウォールを適切に設定する」をお読みください。

利用形態に応じた設定を行う（ケース3）

ケース3：
- パソコンは、ADSLモデムとワイヤレスTVチューナと離れた場所に設置できるが、ADSLモデム用の電話口と、ワイヤレスTVチューナのTVアンテナ線の場所は離れているので、有線LANケーブルで接続できない場合。
- **この接続形態をご利用になるには、パソコンには、無線LAN装置が2セット必要になります。**
  例えば、無線LAN機能を内蔵しているパソコンをご利用の方は、別途、無線LAN PCカードが１枚必要です。無線LAN機能を内蔵していないパソコンをご利用の方は、無線LAN PCカードが2枚必要です（ただし、パソコンに2枚の無線LAN PCカードが装着できる場合に限ります。お使いのパソコンや無線LANカードの形状によっては、2枚の無線LAN PCカードは、同時に装着できない場合があります）。

代表例



設定の流れ

お願い
まず、9ページから14ページまでの「共通の操作・設定」の設定手順が完了していることを確認してください。

付属のLANケーブル（クロスケーブル）で、パソコンと接続していることを確認してください

↓

ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する

↓

パソコンとワイヤレスTVチューナを接続しているLANケーブル（クロスケーブル）を外す

↓

追加するワイヤレスLANカードのインストールを行う

↓

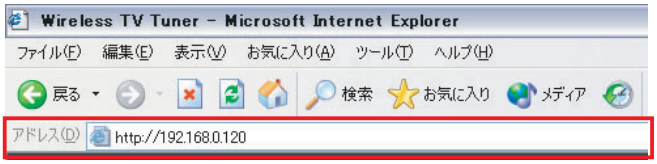
ワイヤレスTVチューナとの接続に使用するワイヤレスネットワークの設定を行う

↓

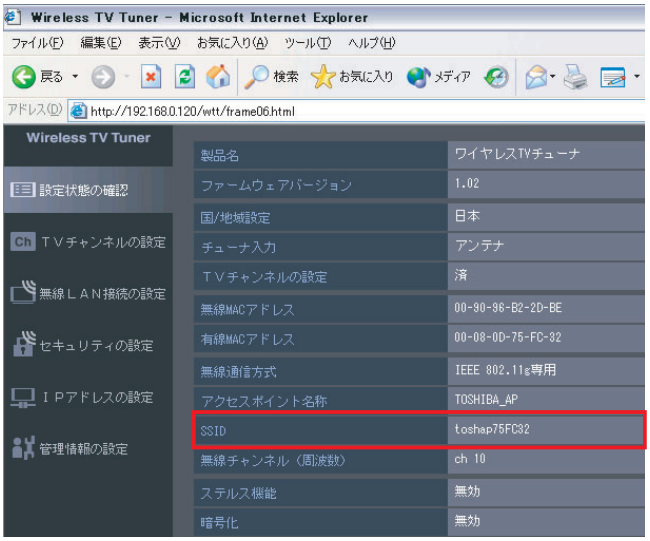
パソコンとルータまたはインターネット接続機器（ADSLモデムなど）を接続する

● ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する

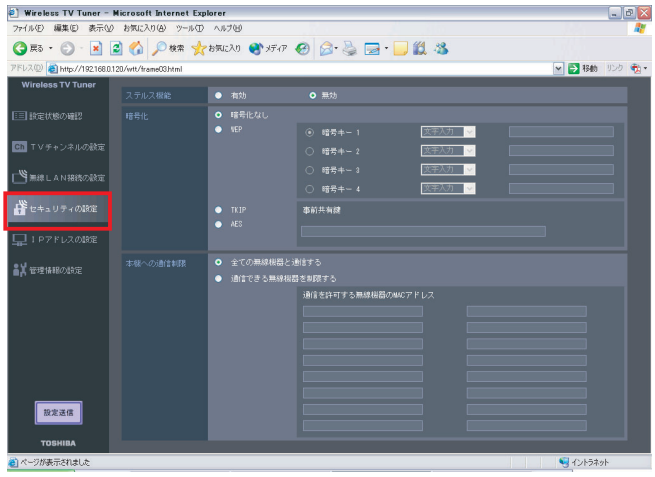
1. Internet Explorerを表示させ、アドレス欄にワイヤレスTVチューナの初期設定のIPアドレス「192.168.0.120」を入力し、[Enter]キーを押す。



2. 言語選択画面で「日本語」を選択する。
3. ログイン画面で、アカウント名に「admin」、パスワードは空欄のまま[ログイン]ボタンをクリックする。
4. SSIDの値を確認する。
   パソコンからワイヤレスTVチューナに接続するときに必要な情報になります。忘れないようにするために、メモしておくことをお勧めします。



5. [セキュリティの設定]メニュータブをクリックする。



ここでは、暗号化方式として、[WEP]を使用する方式を説明します。その他の暗号方式をご利用の方は、ワイヤレスTVチューナのマニュアルも、あわせてご覧ください。

6. 「WEP」を選択し、「暗号キー１」を選択する。
7. 「文字入力」を選択し、任意の13文字の英数記号文字を入力する。

   必ず13文字の英数記号文字を入力してください。ここで、入力した文字は、パソコンの無線LAN設定時にも使用しますので、忘れないようにしてください。また、セキュリティの観点から、文字入力では、辞書に載っている単語は使わず、意味のない英数字と記号を、適宜組み合わせることをおすすめします。
   使用可能な記号文字は、次のものになります。

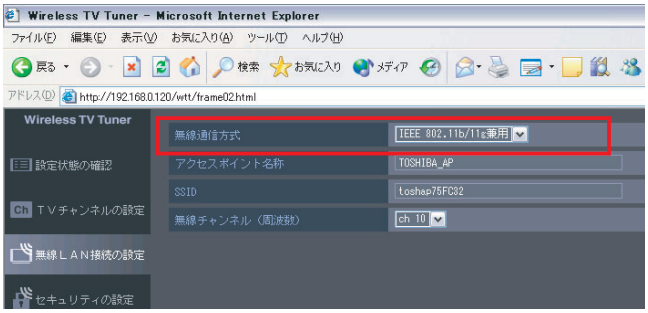
   ! " % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? _

8. [設定送信]ボタンを押クリックする。

設定が完了すると、「設定状態の確認」画面が表示されます。

お願い
IEEE802.11b方式の無線LAN通信のみをサポートしているパソコン（IEEE802.11g方式の無線LAN通信をサポートしていないパソコン）をお使いになる場合は、次の手順9～11の設定を行ってください。

9. 「無線LAN接続の設定」メニュータブをクリックする。
10. 「無線通信方式」を「IEEE 802.11b/11g兼用」に変更する。



11. [設定送信]ボタンをクリックする。

● パソコンとワイヤレスTVチューナを接続しているLANケーブル（クロスケーブル）を外す

設定のために使用したLANケーブル（クロスケーブル）を外してください。

● 追加するワイヤレスLANカードのインストールを行う

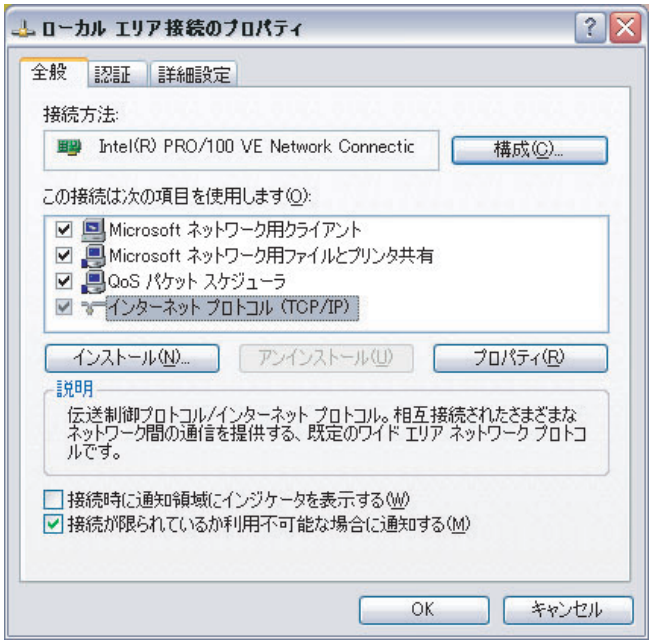
追加するワイヤレスLANカードのマニュアル（取扱説明書）をご覧ください。

● ワイヤレスTVチューナとの接続に使用するワイヤレスネットワークの設定を行う

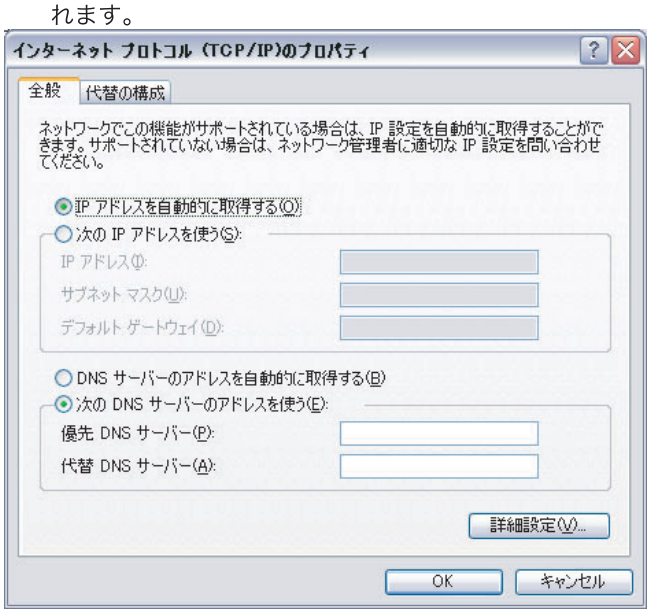
1. [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]-[ワイヤレス ネットワーク接続]を選択する。

お願い
「ワイヤレスネットワーク接続」は、2個表示されますので、ワイヤレスTVチューナと接続を行いたい方のアイコンを選択してください。使用するワイヤレスネットワークアダプタの名前は、「ワイヤレス ネットワーク接続」のアイコンの下に表示されています。

2. マウスの右ボタンをクリックし、ポップアップメニューから、[プロパティ]を選択する。
   「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。



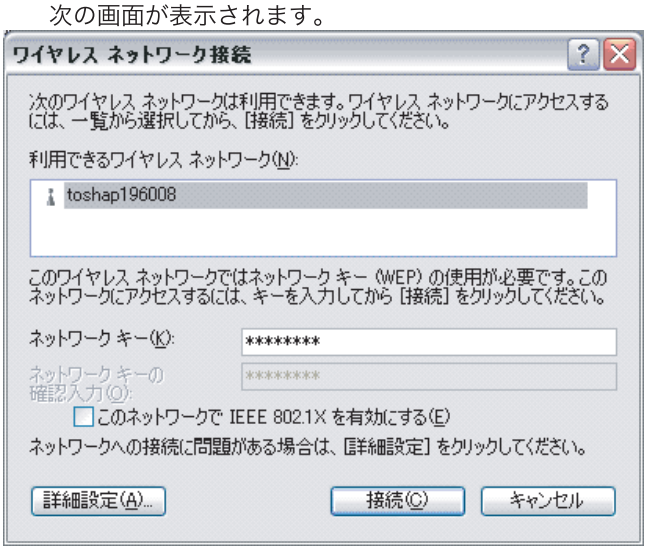
3. 「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。
   「インターネット　プロトコル(TCP/IP)」画面が表示されます。



4. 「次のIPアドレスを使う」をクリックし、IPアドレス欄に「192.168.0.40」、サブネットマスク欄に「255.255.255.0」を入力する。

お願い
2台目以降のパソコンでは、192.168.0.xx （xxは、30、40、120以外の値)を指定してください。

5. [OK]ボタンをクリックする。
6. パソコンの画面右下のタスクトレイにある「ネットワーク接続」アイコンまたはを右クリックし、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」を選択する。
   次の画面が表示されます。



表示される画面は使用するOSのバージョンによって異なります。

7. 「ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する」の手順4でメモしたSSIDと同じ名称のものを、「利用できるワイヤレス ネットワーク」一覧から選択する。
8. ネットワーク キーの欄に、「ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する」の手順7で入力した13文字の英数記号文字を入力する。
9. 「このネットワークで、IEEE 802.1Xを有効にする」のチェックが外れていることを確認する。
10. [接続]ボタンをクリックする。
    正しく接続すると、画面の右下に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と一時的に表示されます。

● パソコンと、ルータまたはインターネット接続機器（ADSLモデムなど）を接続する

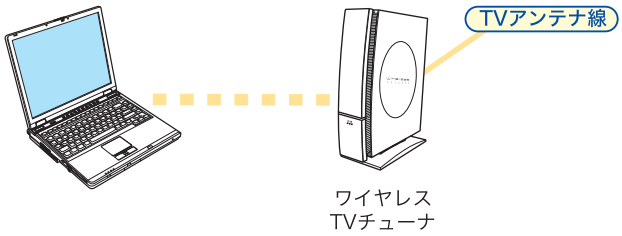
市販のLANケーブル（ストレートケーブル）で、パソコンとルータまたはインターネット接続機器（ADSLモデムなど）を接続してください。

ここまで設定が終わりましたら、26ページの「パソコンのファイアウォールを適切に設定する」をお読みください。

利用形態に応じた設定を行う （ケース4）

ケース4:
インターネットを利用していない、または、モデムを使用してインターネットを利用する環境で使用する場合

代表例



設定の流れ

お願い
まず、9ページから14ページまでの「共通の操作・設定」の設定手順が完了していることを確認してください。

付属のLANケーブル（クロスケーブル）で、パソコンと接続していることを確認してください

↓

ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する

↓

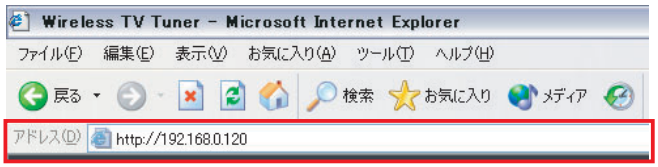
パソコンとワイヤレスTVチューナを接続しているLANケーブル（クロスケーブル）を外す

↓

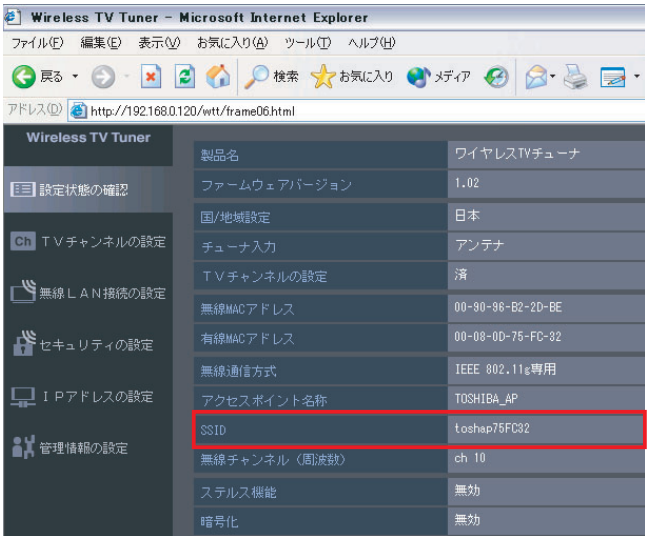
パソコンのワイヤレスネットワークの設定を変更する

● ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する

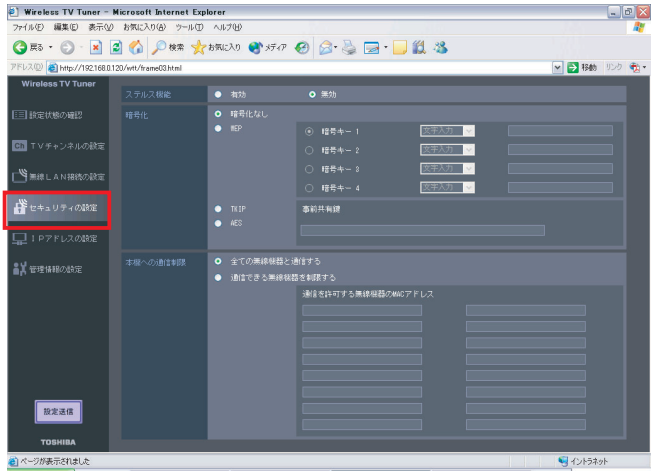
1. Internet Explorerを表示させ、アドレス欄にワイヤレスTVチューナの初期設定のIPアドレス「192.168.0.120」を入力し、[Enter]キーを押す。



2. 言語選択画面で「日本語」を選択する。
3. ログイン画面で、アカウント名に「admin」と入力し、パスワードは空欄のまま[ログイン]ボタンをクリックする。
4. SSIDの値を確認する。
   パソコンからワイヤレスTVチューナに接続するときに必要な情報になります。忘れないようにするために、メモしておくことをお勧めします



5. [セキュリティの設定]メニュータブをクリックする。



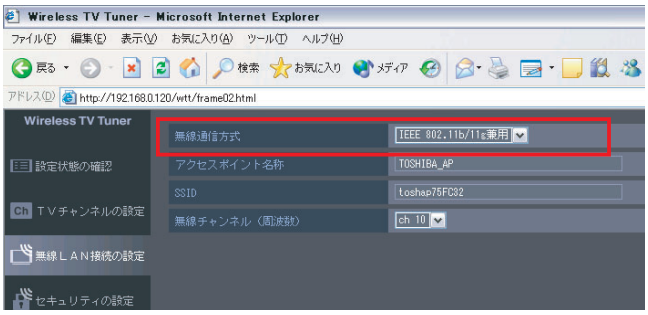
ここでは、暗号化方式として、[WEP]を使用する方式を説明します。その他の暗号方式をご利用の方は、ワイヤレスTVチューナのマニュアルも、あわせてご覧ください。

6. 「WEP」を選択し、「暗号キー１」を選択する。
7. 「文字入力」を選択し、任意の13文字の英数記号文字を入力する。
   必ず13文字の英数記号文字を入力してください。ここで、入力した文字は、パソコンの無線LAN設定時にも使用しますので、忘れないようにしてください。また、セキュリティの観点から、文字入力では、辞書に載っている単語は使わず、意味のない英数字と記号を、適宜組み合わせることをおすすめします。
   使用可能な記号文字は、次のものになります。
   !" % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? _
8. [設定送信]ボタンをクリックする。

設定が完了すると、「設定状態の確認」画面が表示されます。

お願い
IEEE802.11b方式の無線LAN通信のみをサポートしているパソコン（IEEE802.11g方式の無線LAN通信をサポートしていないパソコン）をお使いになる場合は、次の手順9～11の設定を行ってください。

9. 「無線LAN接続の設定」メニュータブをクリックする。
10. 「無線通信方式」を「IEEE 802.11b/11g兼用」に変更する。



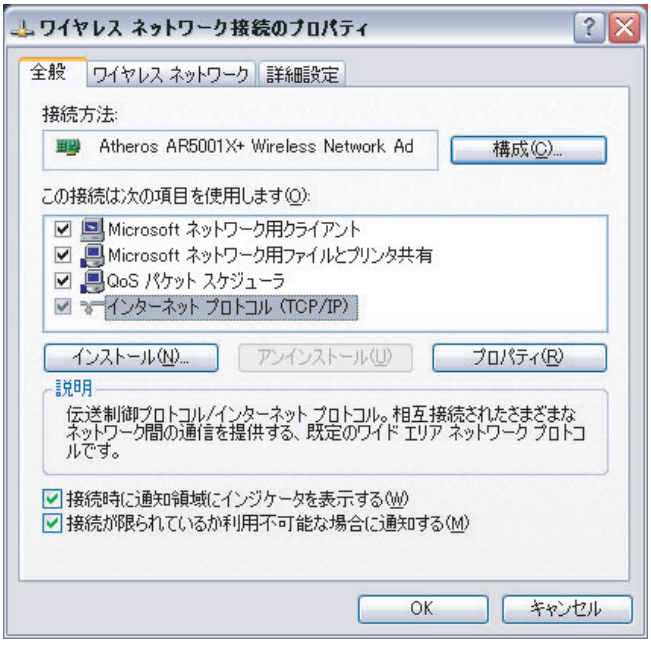
11. [設定送信]ボタンをクリックする。

● パソコンとワイヤレスTVチューナを接続しているLANケーブル（クロスケーブル）を外す

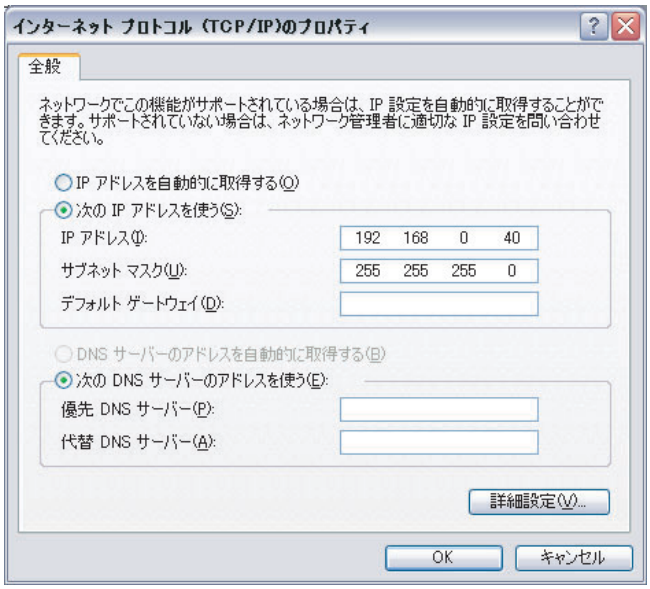
設定のために使用したLANケーブル（クロスケーブル）を外してください。

● パソコンのワイヤレスネットワークの設定を変更する

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]-[ワイヤレス ネットワーク接続]を選択する。
2. マウスの右ボタンをクリックし、ポップアップメニューから、[プロパティ]を選択する。
   「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。



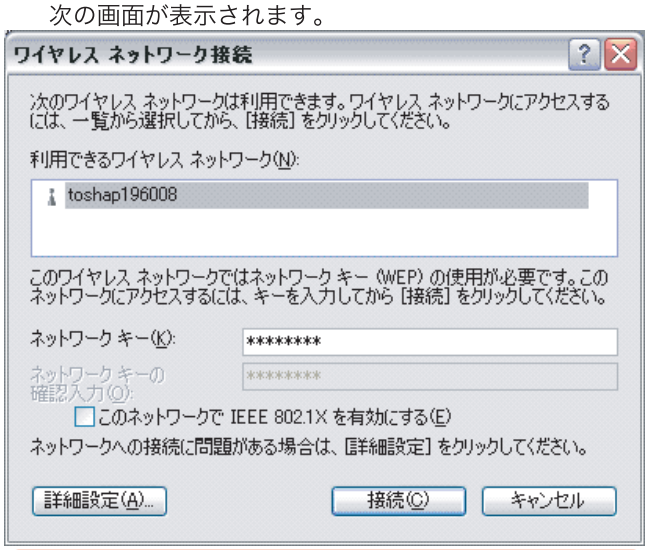
3. 「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。
   「インターネット プロトコル(TCP/IP)」画面が表示されます。



4. 「次のIPアドレスを使う」をクリックし、IPアドレス欄に「192.168.0.40」、サブネットマスク欄に「255.255.255.0」を入力する。

お願い
2台目以降のパソコンでは、192.168.0.xx（xxは、30、40、120以外の値）を指定してください。

5. [OK]ボタンをクリックする。
6. パソコンの画面右下のタスクトレイにある「ネットワーク接続」アイコン または を右クリックし、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」を選択する。
   次の画面が表示されます。



表示される画面は使用するOSのバージョンによって異なります。

7. 「ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する」の手順4でメモしたSSIDと同じ名称のものを、「利用できるワイヤレス ネットワーク」一覧から選択する。
8. ネットワーク キーの欄に、「ワイヤレスTVチューナのネットワーク設定を変更する」の手順7で入力した13文字の英数記号文字を入力する。
9. 「このネットワークで、IEEE 802.1Xを有効にする」のチェックが外れていることを確認する。

10. [接続]ボタンをクリックする。
    正しく接続すると、画面の右下に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と一時的に表示されます。

ここまで設定が終わりましたら、26ページの「パソコンのファイアウォールを適切に設定する」をお読みください。

8. パソコンのファイアウォール機能を適切に設定する

設定の流れ

OSのファイアウォール機能の設定を確認する

↓

ファイアウォールソフトウェアのファイアウォール機能の設定を適切に設定する

● OSのファイアウォール機能の設定を確認する

次の手順は、OSのバージョンにより設定方法が異なります。OSのバージョンに沿って設定を行ない、次の手順6へお進みください。

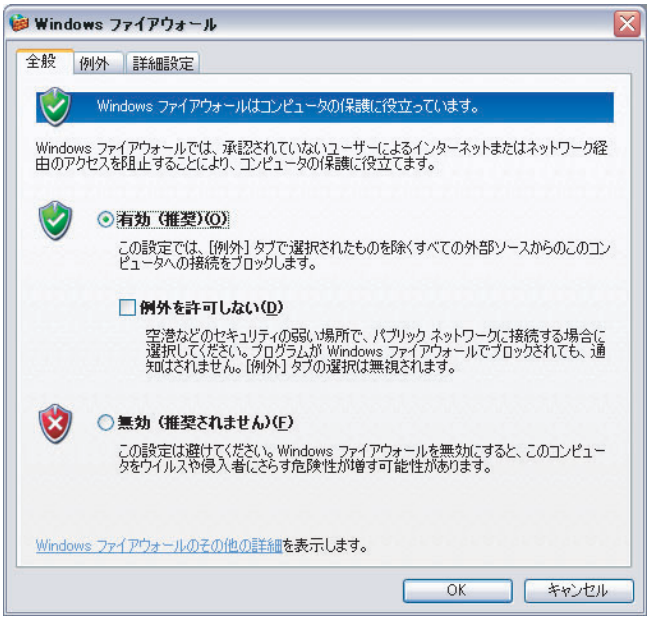
Microsoft Windows XP Service Pack 1をお使いの場合

「パソコンのファイアウォール機能を無効にする」に従って、ローカルエリアネットワークとワイヤレスネットワークの両方の設定で、Microsoft Windows XP Service Pack 1に標準装備のファイアウォールが無効になっていることを確認してください。

Microsoft Windows XP Service Pack 2をお使いの場合

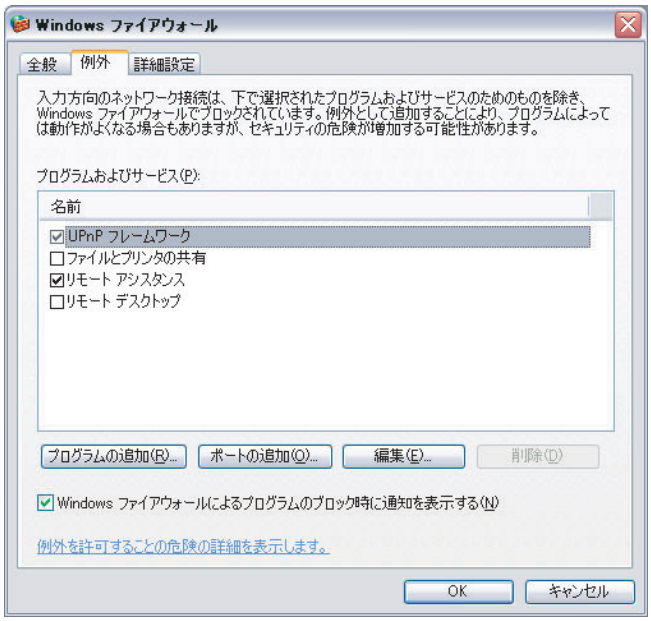
ローカルエリアネットワークとワイヤレスネットワークの両方の設定で下記の事項を確認してください。

1. 「パソコンのファイアウォール機能を無効にする」に従って、次の画面を表示させてください。



2. [例外を許可しない]オプションがチェックされていないことを確認してください。

3. [例外]タブをクリックして表示される次のウィンドウで、[UPnPフレームワーク]がチェックされていることを確認してください。



● ファイアウォールソフトウェアのファイアウォール機能の設定を適切に設定する

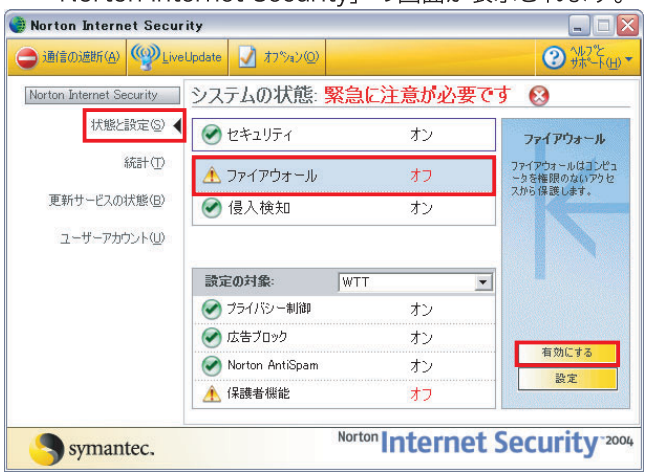
お使いのソフトウェアを確認し、該当するソフトの設定を行なってください。

Norton Internet Securityの場合

Norton Internet Securityのファイアウォールをお使いになる場合は、次の手順に従って、ファイアウォールの設定を有効にしてください。ただし、ファイアウォールソフトから表示されるメッセージに適切に応答し正しく設定しないと、ワイヤレスTVチューナを利用できなくなることがありますので、十分にご注意ください。

1. 「通知領域」の[Norton Internet Security]アイコンをダブルクリックする。

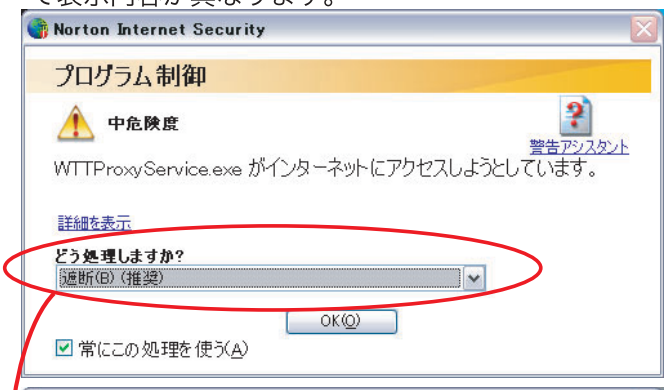
「Norton Internet Security」の画面が表示されます。

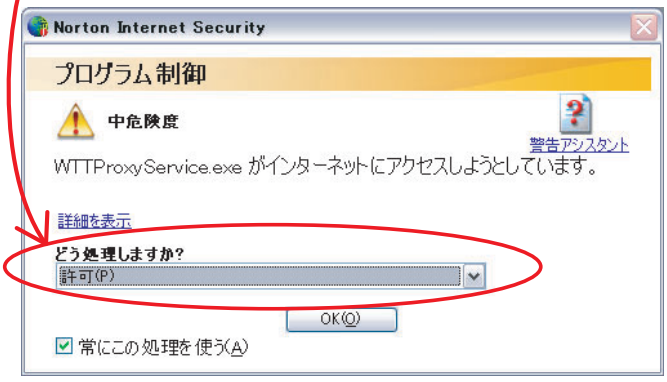


2. 画面左から、[状態と設定(S)]→[ファイアウォール]→[有効にする]ボタンの順にクリックする。

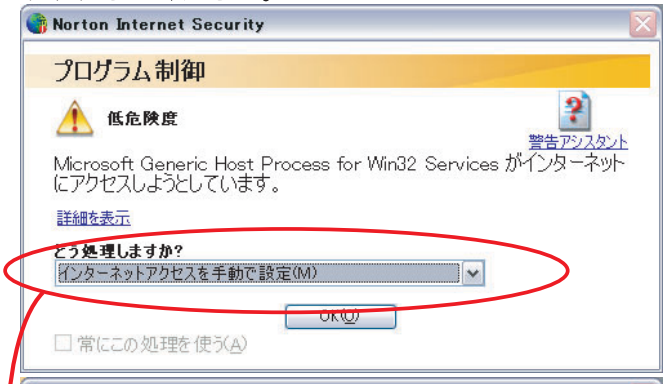
警告メッセージが表示されたときの処理

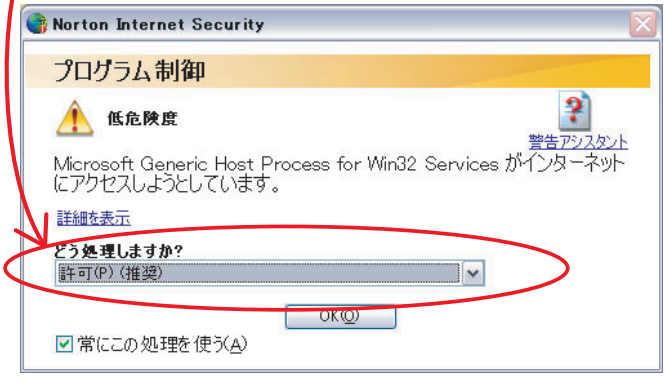
「WTTProxyService.exe がインターネットにアクセスしようとしています。」という警告が表示されたときは、"どう処理しますか？"の項目を[許可]に選択して、[常にこの処理を使う]にチェック「レ」を付けてから[OK]をクリックしてください。なお、表示されるメッセージは、お使いのバージョンによって表示内容が異なります。





「Microsoft Generic Host Process for Win32 Services がインターネットにアクセスしようとしています。」という警告が表示された時は、"どう処理しますか？"の項目の[インターネットアクセスを自動的に設定（推奨）]を[許可]に変更して、[常にこの処理を使う]にチェック「レ」を付けてから[OK]をクリックしてください。





McAfee Personal Firewall Plusの場合

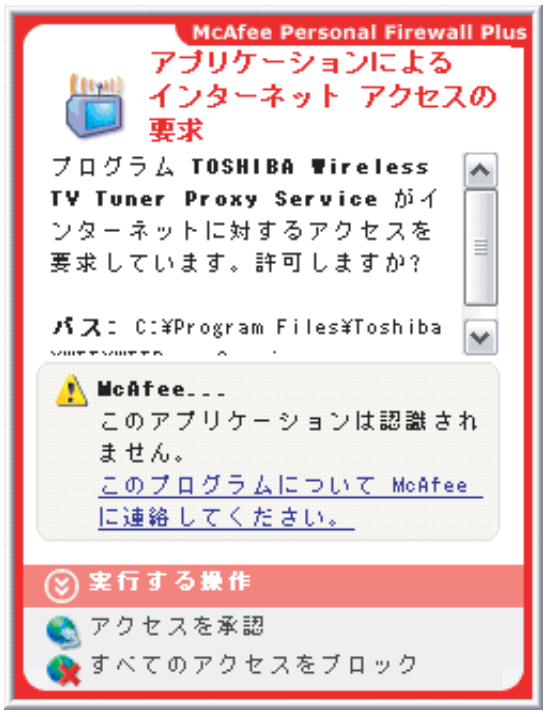
McAfee Personal Firewall Plusのファイアウォールをお使いになる場合は、次の手順にしたがって、ファイアウォールの設定を有効にしてください。ただし、ファイアウォールソフトから表示されるメッセージに適切に応答し正しく設定しないと、ワイヤレスTVチューナをご利用できなくなることがありますので、十分にご注意ください。

1. 「通知領域」の「McAfee Security Center」アイコン Mをダブルクリックする。
   「McAfee Security Center」の画面が表示されます。
2. [Personal Firewall+]メニュータブをクリックする

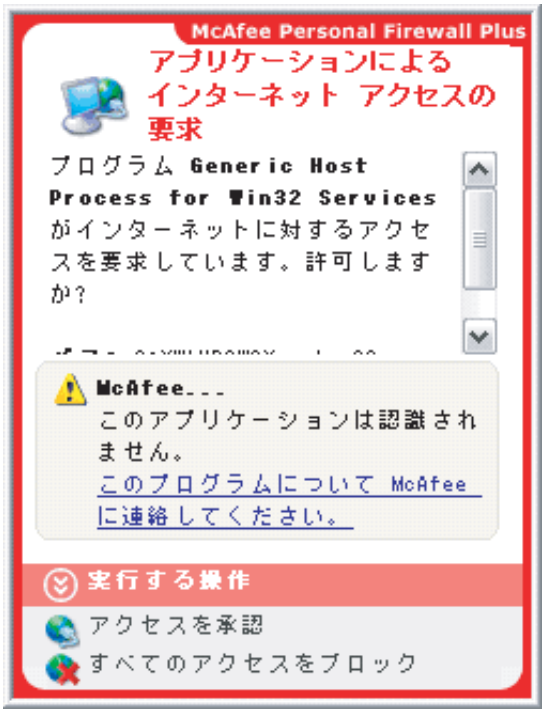
3. 有効にするために、ウィンドウ上部の[ここをクリック]をクリックする。

警告メッセージが表示されたときの処理

「TOSHIBA Wireless TV Tuner Proxy Service がインターネットに対するアクセスを要求しています。」という警告が表示されたときは、"アクセスを承認"を選択してください。



「Generic Host Process for Win32 Servicesインターネットに対するアクセスを要求しています。」という警告が表示された時は、"アクセスを承認"を選択してください。



ご注意

・これらの設定により、「TOSHIBA Wireless TV Tuner Proxy Service」や「Generic Host Process for Win32 Services」の機能がファイアウォールの保護から外れてしまい、コンピュータウイルスの攻撃を受けやすくなります。 コンピュータウイルスの被害を防止するために、常にコンピュータウイルススキャンプログラムを最新の状態でお使いください。

・間違えて設定､選択をしてしまったときは、別紙｢ワイヤレスTVチューナをお使いになる時のファイアウォールソフトの設定について｣をご覧になって、正しい設定を行ってください。

9. パソコンのローカルエリアネットワークの接続の設定を元に戻す

「ワイヤレスTVチューナの初期設定を行う」（6ページ）で、固定IPアドレスに変更したパソコンのIPアドレスは、初期設定完了後、次の手順で元の設定に戻してください。

● パソコンのIPアドレスを自動割り当てにする

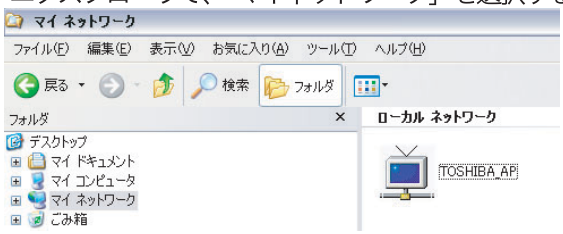
1. [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]-[ローカルエリア接続]を実行する。
   「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。
2. 「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。
   「インターネット プロトコル(TCP/IP)」画面が表示されます。
3. 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、[OK]ボタンをクリックする。

補足：無線アクセスポイントが2つ以上ある場合

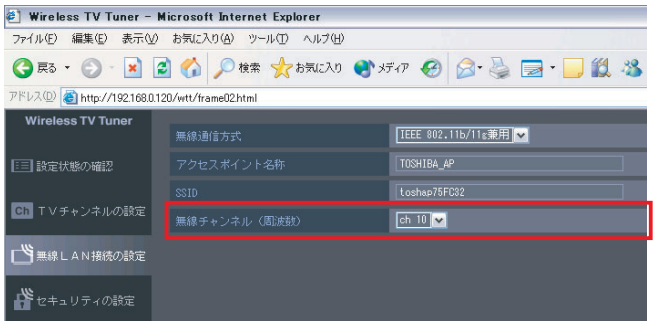
ワイヤレスTVチューナと、既存の無線アクセスポイント機能が使用する無線チャンネルは互いの無線LANの干渉を軽減するために3チャンネル以上離れるように設定してください。

● ワイヤレスTVチューナが使用する無線チャンネルを変更するには

1. エクスプローラで、「マイネットワーク」を選択する。



2. 「TOSHIBA_AP」を選択し、[Enter]キーを押す。
   ワイヤレスTVチューナの設定画面が表示されます。
3. 言語選択画面で「日本語」を選択する。
4. ログイン画面で、アカウント名に「admin」、パスワードは空欄のまま[ログイン]ボタンをクリックする。
5. [無線LAN接続の設定]メニュータブをクリックする。



6. 「無線チャンネル(周波数)」を変更する。
7. [設定送信]ボタンをクリックする。

出荷時設定値

項目	出荷時設定
無線通信方式	IEEE 802.11g専用
アクセスポイント名称	TOSHIBA_AP
SSID	先頭にtoshapを付け、その後にワイヤレスTVチューナのMACアドレスの下6桁を付与したSSIDを設定（本製品のMACアドレスは、本体背面パネルに貼り付けられているシールに記載）
無線チャンネル	10チャンネル
ステルス機能	無効
暗号化機能	暗号化なし
本製品への通信制限	MACアドレスによるフィルタリング機能の設定なし
IPアドレス	192.168.0.120
サブネットマスク	255.255.255.0
管理ユーザ名	admin
管理パスワード	設定なし

ワイヤレス TV チューナ

東芝PC総合情報サイト
http://dynabook.com/

株式会社 東芝
PC＆ネットワーク社　PC第一事業部
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

この冊子は植物性大豆油インキを使用しております。
この冊子は再生紙を使用しております。

GX1C00059110

GX1C00059110
PRINTED IN JAPAN